

事業名

〔にいがた生涯学習フォーラム2014/テーマ事業：子ども読書県民フォーラム〕

目的

子ども読書推進の機運醸成とネットワークづくりを進める。

実施主体

新潟県教育庁生涯学習推進課

参加対象

市町村生涯学習・社会教育関係職員・NPO等

参加者数

延べ524名

回数

1回

日数

1日

時間

計12時間

場所

新潟ユニゾンプラザ、県立生涯学習推進センター

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月27日(木) 10:00~15:30	子どもの読書活動の推進	作家 柳田 邦男 様 ほか
	内容・方法	1 講演「絵本のカー大人の気づき、子どもの成長」(10:30~12:00) 講師：作家 柳田 邦男氏 2 実践発表・トークセッション「子どもが本と接する環境づくり」(13:00~15:30) ① 実践発表 学校図書館アドバイザー 五十嵐 絹子氏 ② トークセッション コーディネーター 大杉 りさ氏 パネラー 五十嵐 絹子氏、福島 はるお氏、渡邊 邦子氏 3 おはなし会「楽しもう！絵本&おてて絵本」(13:30~15:00) 講師：絵本作家 サトシン氏 4 読書ボランティアパネル展示(10:00~16:00) 県内の読み聞かせボランティア等の取組や実践を写真パネルで紹介(21団体)	
	期日・時間	テーマ	講師等
2	11月28日(金) 10:00~16:00	子どもの読書活動の推進	新潟県立大学講師 錦 恵美子 様 ほか
	内容・方法	1 子ども読書ボランティアネットワークフォーラム(10:00~12:00) ① 子ども読書ボランティア団体成果発表会 発表者：長岡市立中央図書館 出張おはなし会ボランティア「どんぐり」、みつけ紙芝居の会「はじまりはじまり」 ② ミニ講演会「子どもの好きな物語」 講師：新潟県立大学講師 錦 恵美子氏 2 ビブリオバトル(参加型知的書評合戦)(13:00~15:30) ビブリオマスター&ビブリオバトルー 新潟青陵大学短期大学部准教授 峰本 義明氏 ビブリオバトルー 新潟大学附属図書館職員並びに新潟大学学生	

成果

・絵本に秘められた深い文学性、芸術性を熱く語る柳田氏の講演は、子どもと本をつなぐ上での私たち大人の役割を改めて考えさせる貴重な機会となった。このフォーラムが、子ども読書ボランティア活動等をさらに広めるきっかけづくりになることを期待する。

課題

・著名な講師を招聘したが、平日開催ということから参加者数が想定を下回った。開催日について検討が必要である。併せて効果的な周知方法についても検討していく必要がある。

問合せ先

新潟県教育庁生涯学習推進課成人教育係(担当：茂野正明) TEL：025-280-5617

事業名	〔にいがた生涯学習県民フォーラム2014／コア事業：生涯学習フォーラム〕		
目的	「第2次新潟県生涯学習推進プラン(改定版)の趣旨を生かし、「学びを楽しみ、社会に生かす」生涯学習気運の一層の醸成を図る		
実施主体	新潟県教育庁生涯学習推進課		
参加対象	一般県民、市町村生涯学習・社会教育関係職員等	参加者数	2イベント 延べ151名
回数	1回	日数	1日
場所	県立生涯学習推進センター（ホール、ロビー）		
内容			
時間	計3.5時間		

	期日・時間	テーマ	出演者等
1	11月27日(木) 12:30～16:15	学びを楽しみ 社会に生かす 「生涯学習ひろば」	新潟市内の 生涯学習サークル
	内容・方法	成果発表ステージ 12:30～13:10 ①フラダンスサークル「フラ オ ホクラニ会」(9名の発表) 4曲(ハワイアン、日本の歌謡曲など) ②オカリナサークル「ぐるーぷ オカリナ」(10名の発表) 5曲(フォークソング、ポップスなど) いずれもいきいき県民カレッジなどの公民館講座等で学んだメンバーが集い、施設訪問や各種イベントでボランティア活動に取り組んでいるサークル。 生涯学習パネル展示 ほか 12:30～11/28 15:30 ①県内の生涯学習各種団体(県社会教育関係団体懇話会加盟団体、県立の社会教育施設)などの取組や実践、県生涯学習推進課や各教育機関の事業を写真パネルで紹介(24枚) ②「生涯学習何でも相談」、「生涯学習情報提供システム：ラ・ラ・ネットの実演&体験」	
2	11月27日(木) 13:30～16:00	学びを楽しみ 社会に生かす 「生涯学習講演会」	映像ディレクター 太田 直子 様
	内容・方法	講演「二人で144歳の中学生 5年間の挑戦 ～学ぶことの意味を探して～」 ・前半：プロローグとNHKのETV特集 「学ぶことの意味を探して 神田一橋通信制中学の歳月」番組視聴(プロジェクターで上映) 計80分 ・後半：番組制作を通して講師が感じたことをもとにした講演 参加者相互の感想と意見の交流(2人組での自己紹介も含む)、質疑応答等 計60分	



成果	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のアンケート結果では、「大変満足」が85%、「どちらかという満足」も合わせると96%の肯定的評価であった。高齢者が通信制中学校で学ぶ感動的な姿を通して、生涯学習にもつながる「学ぶことの意味」を考えることができた。番組視聴を取り入れたこともインパクトがあり効果的に働いた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 当初は参加状況が心配されたが、学校や民間施設へのチラシ配布、放送メディアの利用、関係団体の協力等により、90名以上の参加が得られた。良い内容でも参加者が少なければ成果が出ない。情報提供等の工夫一つで参加状況が大きく変わってしまうことを痛感させられた。講師の知名度も大切ではあるが、今後の事業では、情報提供や開催曜日を工夫することで、質の高い学習機会を県民に提供していきたい。 感想交流の時間がもう少し確保できれば良かった。(アンケートにも同様意見あり)

問合せ先 新潟県教育庁生涯学習推進課生涯学習振興係(担当：井口和司) TEL：025-280-5616

事業名 [生涯学習成果活用促進事業]

目的 NPO法人との協働により、学んだ成果を生かす県民の実践活動を促進する

実施主体 新潟県の委託を受けたNPO法人（3団体）

参加対象 公民館の講座等で学んだ人 **参加者数** 49人（3団体合計）

回数 _____ **日数** _____ **時間** _____

場所 _____

内容

- 1 NPO法人柏崎まちづくりネットあいさ【まちづくりコーディネーター養成】
- 2 NPO法人マミーズ・ネット【子育て支援のための保育ボランティア養成】
- 3 NPO法人新潟NPO協会【トキとの共生に向けた環境保全ボランティア養成】

	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成26年6月21日 ～8月8日	柏崎市の鶴川地区をフィールドとして地域活性化のための課題や解決策について、「柏崎市まちづくり元気塾」での学びや成果を生かして学習を深め、コーディネーターとしての資質向上を図る。	コミュニティセンター元主事 NPO法人まちづくり学校理事 等
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川地区の歴史や文化、これまでの地域活動について学ぶ講義 ・鶴川地区内を歩いて探す地域資源調査 ・同地区でのイベント開催における打合せ ・一般参加者を対象に、そば打ち体験、一品持ち寄りによる大交流会開催、ホテル鑑賞会運営 ・企画イベントの反省を中心に学習全体の振り返り、受講者の今後の活動の方向性についての話し合い 	
2	平成26年9月10日 ～10月23日	子育て支援や家庭教育等を学んだ人たちが、子どもや親と関わる「保育ボランティア」の体験をきっかけにして、地域での活躍の場を見つけていく。	NPO法人マミーズ・ネット職員 上越南消防署、元保育士 等
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の子育てを取り巻く環境やなぜ子育て支援が必要かについての講義 ・救急法についての講義と実技 ・子どもの遊ばせ方の講義と子どものおもちゃ作り実習 ・模擬保育ルームでの保育実習 ・模擬保育ルームの保育体験の振り返りを中心に、保育の意義や保育ボランティアの役割等についてのワークショップと講義 ・先輩ボランティアと共に実際の現場でボランティア体験と具体的なボランティア活動の進め方についての話し合い 	
3	平成26年8月20日 ～平成26年12月7日	トキとの共生のために観光や環境に関するボランティア活動を行っている人を対象に、ビオトープ・森林整備のノウハウを学んでもらい、実践活動を進める人材を養成する。	新潟大学農学部准教授
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・トキの生態系に関する講義 ・佐渡におけるトキの野生復帰に向けたビオトープ整備についての講義 ・放棄里山林、放棄棚田の整備の体験活動 ・今後の環境保全活動への取組の組織・体制づくりの準備 	

成果 学びの成果を社会に生かすための取組をNPO法人との協働により進めることで、県の目指す循環型の生涯学習社会の実現につながっていくモデルとなっている。学習後、受講生が新たにサークルに加入したり、新たな組織を作ったりする動きへ発展している。

課題

問合せ先 新潟県教育庁生涯学習推進課生涯学習振興係（担当：丹後裕）TEL：025-280-5616

事業名

〔 社会全体で子どもをはぐくむつどいin妙高 〕

目的

子どもが心豊かに成長し、社会人として自立していくために必要な資質や態度をどのように「はぐくむか」という課題を学校や親（家庭）だけの問題とせず、地域全体で考え、支援する。

実施主体

主催：新潟県教育庁上越教育事務所、妙高市小中学校PTA連合会

参加対象

保護者、教職員、行政職員、学校支援関係者、一般市民等

参加者数

249名

回数

1回

日数

1日

時間

3時間15分

場所

妙高市：新井ふれあい会館、新井総合コミュニティセンター

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
	12月7日（日） 13:15～16:30	地域とともにある特色ある学校の創造 ～妙高型コミュニティ・スクールの取組をとおして～	コーディネーター： 上越教育大学教職大学院 特任教授 佐藤賢治 様
1 内容・ 方法	(1) 開会式 13:15～13:30 (15) ・開会の挨拶 妙高市小中学校PTA連合会長 竹内 稔 ・主催者挨拶 県教育庁上越教育事務所長 小林晃彦 ・来賓祝辞 妙高市教育委員会 教育長 濁川明男 様 (2) 発表、提言 13:30～14:15 (45) ・新井中央小学校 「地域とともに創り上げた『コミュニティ・フェスティバル』の取組」 ・斐太北小学校 「地域と連携した特色ある教育活動～みらい学習を中核として～」 ・新井北小学校 「受け継がれてきた地域との協働～和田地区と学校の連携～」 (3) 意見交換・まとめ 14:25～15:10 (45) ・コーディネーター 上越教育大学教職員大学院 特任教授 佐藤賢治 様 (4) 分散会 15:30～16:30 (60) ・8会場32グループに分かれての小グループ協議 テーマ「地域の子どもたちをはぐくむために、学校や地域で何ができますか」 まとめ：妙高市の小中学校の校長		 

成果

- ・妙高市の「子縁人材活用制度」「地域コーディネーター」「コミュニティ・スクール」について、参加者への周知が図られた。
- ・発表した3校の事例は、具体的で示唆に富む内容であり、参加者からは大変好評であった。各学校やPTA活動の参考になるものであった。
- ・地域が学校を応援しようとする意欲の高まりが認められた。

課題

- ・参加者では保護者、教職員が多く、一般市民は少なかった。
- ・コミュニティ・スクール等を初めて知る参加者も多く、一般市民への周知を今後も続ける必要がある。
- ・コミュニティ・スクールを立ち上げていくためには、地域が主体となった組織づくりが課題であることが明らかになった。

問合せ先

新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課（担当：松永哲郎） TEL:025-526-9377

事業名 [平成26年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会（上越地区）]

目的 心身ともに健全な児童生徒の育成に向けて、PTA活動に関する研修を行い、PTA活動の活性化を図る指導者としての資質向上を目指す。

実施主体 主催：新潟県教育委員会 主管：上越教育事務所社会教育課

参加対象 小・中・特別支援学校PTA関係者 **参加者数** 205名

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 3時間

場所 ユートピアくびき希望館(上越市頸城区)

内容

期日・時間	テーマ	講師等
6月12日（木） 13:30～16:30	学校と家庭、地域をつなぐPTA活動の工夫 ～各学校PTAの課題とその解決～	県生涯学習推進課 茂野正明様 上越市青少年健全育成センター 竹田一夫様
1 内容・方法	<p>(1) 開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> 開会の挨拶 上越教育事務所長 説明 「趣旨説明及びPTA活動の手引き」 県生涯学習推進課副参事（茂野） 「PTA活動の手引き」に基づいて説明した。「説明を聞いてよかった。」という声があった反面、「手引きの内容が多すぎて、後から勉強したい。」という声も聞かれた。保護者は82.9%、教職員は68.2%が「役に立った」と回答した。 <p>(2) 事例発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校部会 発表校 糸魚川市立糸魚川東小学校 「ジオパーク探検」や「塩づくり体験」等、地域の特色を生かした学年PTAや「糸東小まつり」を盛り上げるPTA専門部の取組を発表した。77.3%が「役に立った」と回答した。 中学校部会 発表校 上越市立大島中学校 小規模校におけるPTA組織を生かす工夫や学校行事に協力して生徒の活動を応援するPTAの取組を発表した。96.4%が「役に立った」と回答した。 <p>(3) 分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校23、中学校9、特別支援学校1の小グループに分かれ、テーマに基づいて協議 事前に進行係と記録係を依頼しておくことで、スムーズな進行となった。「自由な雰囲気の中で、話ができよかった。」「他校の話が聞いて、参考になった。」「もっと話したかった。」という声が聞かれた。小学校では97.5%、中学校では97.4%が「役に立った」と回答した。 	

成果	<ul style="list-style-type: none"> 事例発表校数を減らしたことで、分科会の時間を増やすことができた。アンケートの自由記述によると、事例発表については、「小学校と中学校の事例の発表が今後のPTA活動の参考になる。」、分科会については、「自由な雰囲気の中で教職員や他校の保護者と話ができ、刺激を受けた。」という肯定的な意見が数多く見られた。 参加者が他者と意見交流することで、自身の考えを深め、次の活動の意欲に結びついている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの自由記述では、もっと時間をかけて「PTA活動の手引き」の説明をお願いしたいという記述が見られた。開会式と事例発表会の時間を削減して分科会の時間を増やしたことが要因である。「PTA活動の手引き」を事前に参加校に配付する等の対応策が必要である。

問合せ先 上越教育事務所社会教育課（担当：松永哲郎）TEL：025-526-9377

事業名

〔平成26年度 社会同和教育市町村巡回研修会（上越地区）〕

目的

県民の同和問題や社会同和教育の在り方について理解を深め、部落差別の解決に向けての確かな実践を促すため、広く県内市町村を巡回して研修を行う。

実施主体

主催：新潟県教育委員会 主管：上越教育事務所社会教育課

参加対象

市民、PTA関係者、行政関係者等

参加者数

264名

回数

1回

日数

1日

時間

3時間

場所

糸魚川市立糸魚川小学校

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
	10月6日（月） 13:30～16:35	人権と差別についてともに考えませんか？	上越市立東本町小学校長 磯貝 芳彦 様
1 内容・方法	(1)趣旨説明	13:30～13:45 県教育庁生涯学習推進課 櫻井武史	
	(2)授業参観	14:00～14:45 6年1組（多目的ホール） 「渋染一揆」を扱った3時間目の授業を公開した。参観者からの感想として「今、同和教育を子どもたちがどのように学んでいるのか、理解しているのかを見ることができて良かった。」「渋染一揆の事実や背景を丁寧に学習してきた様子がうかがえた。」などがあり、学校での同和教育の実際と、児童の真剣な学びの姿から、同和教育への考えを深め、次の講話やグループ協議につなげていた。	
	(3)講話	14:55～15:40 演題「人権と差別についてともに考えてみませんか？」 講師 上越市立東本町小学校 校長 磯貝芳彦 様	
	(4)グループ協議	15:50～16:35 （30グループ） テーマ ①差別をなくしていくためにはどうしたらよいでしょうか。 ②自分の立場でできることは何でしょうか。 授業参観、講話を受けて、一般市民、行政関係者、教職員等、様々な立場から活発な意見交換がなされた。参加者からは「こういう機会を多く持って、一人一人が自分の考え、生き方を再確認する必要性を感じた。」「異なる立場の方と話ができ、視野が広がった。」などの感想が多くあった。少人数のグループでの話し合いにより、参加者全員が発言し、考えを深められたことは良かった。	

成果

・人権を守ることの意義、差別とはどういうことか、身の回りにある差別、今も残る部落差別、人権教育、同和教育の現状等分かりやすく、具体的な内容の講話であった。初めての参加者から教職員まで、聴講者は多彩であったが、それぞれに得るものが大きかった。「多数の市民の方に聞いてもらいたい。」などの感想があり、同和问题への関心を高める講話であった。

課題

・一般市民からの「このような研修会に初めて参加した。勉強になった。」という感想に見られるように、社会同和教育の趣旨が生かされるよう、多くの市民参加を得る策を講ずるとともに、研修会の持ち方を工夫していく努力が必要である。

問合せ先

上越教育事務所社会教育課（担当：松永哲郎）TEL：025-526-9377

事業名

〔上越地区学校支援コーディネーターサミット〕

目的

- (1) 学校支援コーディネートに関する情報提供及び情報交換をとおして、学校支援地域本部事業及び学校支援コーディネート活動の円滑な実施を図る。
- (2) 3市及び学校支援コーディネーター間の連携関係を深める。

実施主体

主催：県教育庁上越教育事務所

参加対象

3市地域コーディネーター、行政担当者

参加者数

26名

回数

1回

日数

1日

時間

2時間20分

場所

上越地域振興局 303会議室

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
	平成26年11月25日(火) 14:00～16:20	学校支援地域本部事業の成果と課題	—
1	内容・方法	<p>(1) 開会の挨拶 14:00～14:05 上越教育事務所長</p> <p>(2) 情報提供 14:05～14:30 上越教育事務所 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全県の学校支援地域本部事業の概要 ・地域連携を担当する教員研修会報告 ・25年度コーディネーターサミットの成果 <p>3市担当者 (5分×3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市の学校支援地域本部事業の成果と課題 <p>(3) 情報交換1 14:30～15:20 3グループ (各市混合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター業務の課題と解決策 <p>(4) 情報交換2 15:25～16:00 3グループ (市単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター業務の課題と解決策 <p>(5) 発表 16:00～16:15 各市代表1名 (5分×3)</p> <p>(6) 閉会の挨拶 16:15～16:20 上越教育事務所社会教育課長</p>	 

成果

- ・3市ともコーディネーターが活動しているベース（学校支援体制）が違うので、学校支援の現場での成果と課題に的を絞って情報交換することで、今後に役立つ具体的な協議をすることができた。
- ・3市の担当者がそろっているので、情報交換、協議の後に、3市ごとに集まる時間を設定し、コーディネーターと各市の状況に応じた話し合いをすることができた。

課題

- ・3市がそれぞれ特色ある学校支援の体制を構築しているが、ボランティアの人材不足や人材育成が多く地域で、課題となっている。行政、大学、NPO等と連携しながら、研修の機会の充実や人材の発掘をしていく必要がある。
- ・コーディネーターのやりがいとして、いくつか事例や提案があった。学校にもコーディネーターの思いや願いを機会あるごとに知らせることで、コーディネーターと学校の良い関係を築き、実効性ある学校支援が根付いていくようにする。

問合せ先

県教育庁上越教育事務所社会教育課（担当：松永哲郎） TEL:025-526-9377

事業名 [平成26年度 子ども読書ボランティアリーダー養成講座（中越地区）]

目的 子どもの読書活動を推進するため、既に活動している子ども読書ボランティアの更なる資質の向上を目指して講座等を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

実施主体 新潟県教育庁生涯学習推進課・中越教育事務所社会教育課

参加対象 子ども読書活動ボランティア経験3年以上の方

参加者数 延べ53名

回数 2回 **日数** 3日 **時間** 10時間

場所 南魚沼市図書館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月11日（木） 13:45～15:45	講義「物語との幸せな出会いを求めて」	新潟県立大学非常勤講師 錦 恵美子 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 絵本のもつ力と魅力、その世界のすばらしさを中心に、読み聞かせは聞き手だけではなく、読み手にとっても大きな成長の機会であること、読み手自身の感性を磨くことなどについての講義。今回は、科学絵本を中心に取り上げた。 <p style="text-align: right;">[38名]</p>	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	10月12日（日） 13:00～16:00	ワークショップ	「センス・オブ・ワンダー」主宰 中山 佳奈恵 様
	10月13日（祝） 10:00～16:00	講義：絵本の読み聞かせ 基本の確認 実習：課題プログラム検討会	
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 講義 講座全体の約束確認～メモをとらない、集中して絵をみる（文字を追わない）、読み手の言葉を響かせる～ ワークショップ 「学習会・交流会を企画する」 グループに分かれ、日ごろの悩みや困っていることを出し合い、各班で課題を設定してその解決のために具体的な作戦を立てる。 課題プログラム検討会 事前課題で、各自が提出したプログラムをもとに実際に読み聞かせを行い、お互いに批評する。 <p style="text-align: right;">[15名]</p>		

成果

各回、全体とも講座に対する参加者の肯定的評価が100%で、十分満足できる内容であった。集中講座では、普段の対象とは異なる年齢・経験をもつ人に聞いてもらうことに、新鮮な印象を受けていた。また、目的の一つであった参加者同士の交流を行うことができ、中越管内の他地区の活動に刺激を受けた様子であった。

課題

毎年、この講座を楽しみにしているリピーターが多く見られた。
 錦先生の講演は、幼稚園・保育園の職員、小学校の教員など、子どもと絵本が身近にある職種の人にぜひ聞いてほしい内容である。時間設定や広報の仕方を考え、多くの参加が得られるようにしたい。
 参加者の意識が、「リーダー養成」ではなく、個人の技能や知識の向上に向けられている。受講者の取組を市町村に情報提供し、受講者やボランティア団体が、今まで以上に市町村と連携して取組を進められるような支援が必要である。

問合せ先

新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当：龍池規雄） TEL0258(38)2652

事業名

〔平成26年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会く（中越地区）〕

目的

PTA活動に関する研修をとおして、指導者としての資質の向上を図り、PTA活動の活性化を目指す。

実施主体主催：新潟県教育委員会（主管：中越教育事務所）
共催：燕市教育委員会、刈羽村教育委員会、魚沼市教育委員会**参加対象**

小学校、中学校、特別支援学校PTAの役員及び教職員

参加者数

359名

回数

3回

日数

3日

時間

各3時間40分

場所燕市中央公民館（6／4）、刈羽村生涯学習センター・ラピカ（6／18）、
魚沼市中央公民館（7／2）**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	①6月4日(水) ②6月18日(水) ③7月2日(水) 13:00～16:40	学校と家庭、地域をつなぐPTA活動の工夫	講師： 県警察本部サイバー犯罪対策本部 新井田 亮 様 ファシリテーター： 県生涯学習関係職員5名
内容	○ 日程 12:30 13:00 13:15 13:30 14:30 14:45 16:30 16:40		
方法	○ 講義題 「子どもたちを取り巻くネットワーク犯罪の現状と課題」 ○ グループワーク：ワールドカフェ（9分散会 92班、各グループ原則4人）		

成果

- ・昨年度より会場を3会場にし、「参加しやすい」という声が多く聞かれた。
- ・講義は、ネットワーク犯罪を取り上げた。多くの保護者にとって、利用していても詳しく知らない世界であり、多くの課題をはらんでいるだけに、大変好評であった。
- ・グループワークは、初めて、ワールドカフェ方式を採用入れた。テーマは、講演を受けたテーマとし、少人数で情報を交換し合った。昨年までの1日日程を半日日程にしたことで時間は短くなったが、参加者からは、「ワールドカフェ最高!」「多くの人からいろいろな話が聞けてとても良かった。」という声が多く寄せられた。

会場	参加者	校種	対象学校数	参加校数	参加校率	参加人数
燕市	117名	小学校	197校(206)	195校(202)	99.0%(98.1)	229人(248)
刈羽村	130名	中学校・中等教育学校	99校(99)	90校(94)	90.9%(94.9)	110人(131)
魚沼市	112名	特別支援学校	11校(10)	11校(10)	100%(100)	20人(20)
計	359名(399)	全体	315校(319)	306校(314)	97.1%(98.4)	359人(399)

（ ）内は25年度

課題

- ・ワールドカフェを実施するためには、課題設定が大切。今回のように、活発な情報交換ができる課題を検討したい。

問合せ先

新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当 呉井 済） TEL：0258-38-2652

事業名

平成26年度 社会同和教育市町村巡回研修会（中越地区）

目的

同和問題の正しい理解を深め社会同和教育の実践を促すため、広く県内市町村を巡回して研修を行う。

実施主体

主催：新潟県教育委員会（主管：中越教育事務所）

<魚沼市会場>

共催：魚沼市教育委員会、南魚沼市教育委員会、湯沢町教育委員会

<見附市会場>

共催：見附市、見附市教育委員会、長岡市教育委員会、出雲崎町教育委員会

参加対象

魚沼市・南魚沼市・湯沢町及び見附市・長岡市・出雲崎町に在住・在勤の方を中心に、中越管内の希望者を対象

参加者数

<魚沼市会場> 131名 <見附市会場> 134名（講師・スタッフを含む）

回数

2回

日数

各1日

時間

各3時間30分

場所

<魚沼市会場> 魚沼市中央公民館 <見附市会場> 見附市中央公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
魚沼市会場	7月9日(水) 13:00~16:30	人権教育・同和教育の啓発	部落解放同盟新潟県連合会 副執行委員長 嶋田 守雄 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 ・開会挨拶 中越教育事務所長 ・祝辞 魚沼市教育委員会教育長 ○ オリエンテーション ○ 説明「県教育委員会の社会同和教育の取組について」 県生涯学習推進課担当 櫻井武史 ○ 講義「新潟県内における同和問題」 ○ グループワーク「同和問題解消に向けて」～今、何をすべきか～（4分散会） ○ 分散会内でグループワーク報告（全グループ） ・閉会 	
見附市会場	9月26日(金) 13:20~16:50	人権教育・同和教育の啓発	部落解放同盟新潟県連合会 執行委員長 長谷川 均 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 ・開会挨拶 中越教育事務所長 ・祝辞 見附市教育委員会教育長 ○ オリエンテーション ○ 説明「県教育委員会の社会同和教育の取組について」 県生涯学習推進課担当 櫻井武史 ○ 講義「新潟県の部落差別の実態と同和行政、教育の課題」 ○ グループワーク「同和問題解消に向けて」～今、何をすべきか～（4分散会） ○ 分散会内でグループワーク報告（全グループ） ・閉会 	

成果

グループワークでは、様々な立場の人と話し合うことで「参考になった」84%「少し参考になった」11%と参加者のほとんどが肯定的にとらえていた。研修に参加して「とても良かった」「まあまあ良かった」の感想がそれぞれ60%、31%であった。同和教育の推進に大きな効果があったと考えられる。この結果からも、一般・行政・教員と立場の違うメンバーでグループワークを行い様々な考えを知ることが視野を広げ、学びを深めるために重要である。

課題

本研修会で同和問題や学校での同和教育の取組について、初めて知った保護者や地域関係者が多く見られた。義務教育課の事業等とも連携を図りながら、学校・家庭・地域と連携した研修会を企画する必要がある。一般の方の参加がなかなか得られない現状である。成果に記述したように、様々な立場のメンバーがバランスよく参加できるよう、呼びかけ方を工夫していく必要がある。

問合せ先

新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当：龍池規雄） TEL 0258-38-2652

事業名

【家庭教育支援者交流会（中越地区）】

目的

中越管内の家庭教育に関わる行政担当者及び親子サークル、家庭教育支援関係団体等が集まり情報交換を通じて、ネットワークづくりと連携を図るきっかけとし、家庭教育支援の充実を目指す機会とする。

実施主体

中越教育事務所 社会教育課

参加対象

管内家庭教育支援関係の希望者

参加者数

18名

回数

1回

日数

1日

時間

3時間

場所

長岡地域振興局 大会議室

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
	5月21日(水) 13:30～16:40	「家庭教育支援の輪を広げよう」	なし
1	内容・方法	1 開会 2 県生涯学習推進課における家庭教育事業について紹介 県生涯学習推進課 関根尚子 主査 3 情報交換 ワールド・カフェ方式での話し合い ・進め方について確認 ラウンド① ラウンド② (休憩) ラウンド③ 4 内容の共有とまとめ 発表、メッセージの記入 5 連絡・閉会	

成果

行政・団体等、様々な立場のメンバーと意見交換することで、得るものが大きかったという声が複数聞かれた。知ることと同時に、自分たちの大変さを聞いてもらえたことが大きかったようである。

また、このような交流会を市町村単位でもってほしいという声が多くあり、まず市町村で手をつけるべきところが見えてきている。

課題

社会教育の立場で、家庭教育支援について何をすべきなのか分からない、他課・担当が具体的に事業を行っているのだから、何もしなくていいのではないかという声が聞かれる。しかし、手をこまねいて見ているだけでは、支援にはならない。

行政内だけを見ても、子育てや家庭教育を担当する組織が多岐にわたっている。教育委員会内部のみではなく全体を調整していく必要がある。その上で、個々の家庭や団体が求める支援のどの部分をどこが担当するのか、市町村の社会教育主管課が市町村全体のコーディネーター役として機能することが求められる。

問合せ先

新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当：龍池規雄） TEL 0258-38-2652

事業名

平成26年度 子ども読書ボランティアリーダー養成講座（下越地区）

目的

子どもの読書活動を推進するため、既に活動している子ども読書ボランティアの更なる質の向上を目指して講座等を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

実施主体

新潟県教育庁生涯学習推進課・下越教育事務所社会教育課

参加対象

読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動に参加した経験のある方

参加者数

延べ147名

回数

4回

日数

4日

時間

11時間

場所

第1回：胎内市産業文化会館 第2～4回：胎内市黒川支所

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月16日（木） 13：00～15：00	講義：「物語との幸せな出会いを求めて」	新潟県立大学講師 錦 恵美子 様
	内容 方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰もが生まれながらにして持っている、神秘さや不思議さに目を見張る心＝センス・オブ・ワンダーがいつまでも失われないように私たちにできること。 ○ 科学絵本のもつ力 	
2	10月23日（木） 13：00～16：00	講義：「読み聞かせのよろこび再確認」	JPIC 読書アドバイザー 根津 正子 様
	内容 方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせについて（用語 行政の施策 ボランティアとして） ○ 読み聞かせのよろこび（活動のよろこび 共感のよろこび 子どもと関わるよろこび） ○ 「わたしの一冊」についてグループ討議 全体発表に向けての準備 発表 	
3	10月30日（木） 13：00～16：00	講義と演習：「読み聞かせのスキルアップポイント」 「聞き手に応じた選書」	JPIC 読書アドバイザー 根津 正子 様
	内容 方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ スキルアップポイント <ul style="list-style-type: none"> ①「本」を選ぶ → プログラムを作る → 読む ②サークルを運営し、活動の持続性を維持するために ③心得ておきたいこと（学校・病院等の持つ特性や著作権問題） ○ 聞き手に応じた選書 たくさん聞いて、たくさん読んで、読み手としての力量を 	
4	11月6日（木） 13：00～16：00	講義と演習・実演：「様々な読み聞かせ」 「これからの活動のために」	JPIC 読書アドバイザー 根津 正子 様
	内容 方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループでの発表（5グループが発表 発表時間10分） ○ 読み聞かせの実演 ○ これからの活動のために（各サークルの自作資料を基に交流 名刺交換） 	

成果

- ・子ども読書活動推進計画の策定へむけて、地域全体の意識向上を視野に入れ開催地を選択している。村上市（25年度開催）、胎内市ともに27年度中に計画策定の見通しがついた。（聖籠町：策定に向け準備中）
- ・ボランティアが自主サークルとして自立した活動ができるように、財源確保の面から「子どもゆめ基金」の活用、相談窓口となる各市町村の行政担当（図書館職員等）との連携を積極的に紹介。
- ・市町村は、子ども読書活動の推進や読み聞かせのスキルアップのための講座を企画したが、講師情報が不足していることがうかがえる。県立図書館との連携や支援がうけられるよう調整ができるとよい。

課題**問合せ先**

新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課（担当：甲斐 浩之） TEL:025-231-8361

事業名

〔平成26年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会（下越地区）〕

目的

心身ともに健全な児童生徒を育成するPTA活動の活性化を図るため、PTA活動に関する研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。

実施主体

主催：新潟県教育委員会(主管：下越教育事務所) 共催：聖籠町・佐渡市教育委員会

参加対象小・中・中等・特別支援学校のPTA
役員、教職員、行政職員等**参加者数**203人
(下越会場129人 佐渡会場74人)**回数**

各1回

日数

各1日

時間

下越会場、佐渡会場：3.5時間

場所

1回目：聖籠町町民会館 2回目：佐渡市トキのむら元気館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月13日 3.5時間	「学校と家庭、地域をつなぐPTA活動の工夫」 ～子どもたちの健やかな成長を図るPTA活動を目指して～	県警察本部サイバー犯罪対策課 特捜係長 遠山 雄一 様
	内容・方法	○講演 「ネット犯罪の現状と危険性」 ・子どもたちの周辺には、ネットワークツールになるものが多数存在している。そのため、トラブルに巻き込まれたり、被害者や加害者になったりする危険性がたくさんあり、使い方間違ふととても危険なことが待ち構えている。 ・インターネット上にある個人情報や写真の位置情報等から、急に知らない人から連絡やメールが来ることもある。うかつに個人情報を公開しない方がよい。 ・正しい知識を身につけ、適切に使用していくことが大切になる。フィルタリングをつけるなどして有害情報から身を守ることが必要である。 ○グループ協議「子どもたちの健全育成のためにPTAにできること」 ・様々な課題に対して、PTAとしてどのようなことができるのか対策を協議した。最後に、各グループが発表し、全体に紹介した。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	6月24日 3.5時間	「学校と家庭、地域をつなぐPTA活動の工夫」 ～子どもたちの健やかな成長を図るPTA活動を目指して～	県警察本部サイバー犯罪対策課 係長 桑原 慎太郎 様
内容・方法	聖籠町会場と同じ		

成果

・PTA役員、学校教職員等に具体的な事例をもとにして、インターネット使用による危険性等を伝える講演であった。参加者の評価は、「大変よい・よい」が佐渡95.2%、下越93.9%であった。グループ協議では、様々な課題に対しPTAとしてできることを話し合った。また、互いの情報交換の場としても充実していた。

課題

・下越地区は広域なため、開始、終了時刻の設定が難しい。開会式等できるだけ簡素化し、時間の確保や移動時間を考慮する。

・時期的に中学校では各種大会シーズンということもあり、保護者が休暇をとりにくいという声を聞いた。参加対象は各校の指導的立場である会長副会長に限らず、学年代表等参加対象範囲を広げていくことも必要なのではないかと思われる。

問合せ先

新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課（担当：石川 裕）TEL：025-231-8361

事業名

【 家族でエンジョイ！ふれあい体験ランド 】

目的

家族の絆を強めるとともに、地域での指導力の向上を図る。

実施主体

新潟県立青少年研修センター

参加対象

家族、親子（子どもは小学生以上）

参加者数

延べ 217名

回数

3回

日数

各回1泊2日

場所

新潟県立青少年研修センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月19日(土) ～ 7月20日(日)	第1回 「親子で夢中！ドキドキの夏」	青少年研修センター 研修課職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜活動、地引き網、テント生活やキャンプファイヤーなどの野外活動をとおして、自然と親しみながら家族・親子間の絆を強める。 ・青少年指導者として、夏の体験活動の知識と実践力を身に付ける。 	
2	10月18日(土) ～ 10月19日(日)	第2回 「親子で夢中！ワクワクの秋」	青少年研修センター 研修課職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモ掘り、キャンドルランタンづくり、ナイトハイク、野外炊事などをとおして、親子間の絆を深め、家族間のコミュニケーションを図る。 ・青少年指導者として、秋の体験活動の知識と実践力を身につける。 	
3	2月21日(土) ～ 2月22日(日)	第3回 「親子で夢中！ウキウキの冬」	青少年研修センター 研修課職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子作り・クラフト（モザイクキャンドル）をとおして物作りの楽しさを感じ、キャンドルファイヤーに取り組むことで家族・親子の絆を深め、家族間のコミュニケーションを図る。 ・青少年指導者として、冬の体験活動の知識と実践力を身につける。 	

成果

- ・親子で協力して取り組むメニューを用意したことで、参加者の多くから家族のふれあいの時間がとれたと好評であった。
- ・地域の産業や自然を生かした活動をしたことにより、参加した親からPTA活動の参考にしたいとの感想が寄せられた。

課題

- ・事業参加を機会に子ども会等の行事に積極的に参加する意識が定着するように、内容や取り組み方法を考えていくことが必要である。新規参加者のさらなる獲得のため、広報手段を今後検討する必要がある。

問合せ先

新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL 0256-77-2111

家族でエンジョイ！

ふれあい体験ランド



第1回親子で夢中！

ドキドキの夏

テントで寝る！
星空を見ながら



明日の朝は、
地引き網しよひな。

期日：平成26年7月19日(土)・20日(日)

場所：県立青少年研修センター

対象：家族・親子（子どもは小学生以上）



定員：60名（応募多数の場合は、抽選をさせていただきます。）

費用：一人3,710円 + 1家族あたり100円



問合せ先：新潟県立青少年研修センター（研修課）

新潟市西蒲区越前浜5597-1 ☎0256-77-2111 FAX0256-77-2114

家族でエンジョイ！
ふれあい体験ランド第2回
親子で夢中！ワクワクの秋

期日 平成26年10月18日(土)～19日(日)

場所 県立青少年研修センター

対象:家族・親子(子供は小学生以上)

定員:60名(応募多数の場合は、抽選をさせていただきます)

費用:1人2920円+1家族あたり400円

申込 平成26年8月25日(月)

～9月20(土)

問合せ先

新潟県立青少年研修センター(研修課)

新潟市西蒲区越前浜5597-1 ☎0256-77-2111 FAX0256-77-2114

家族でエンジョイ!ふれあい体験ランド

親子で夢中 ウキウキの冬

第3回



キャンドルナイト & ひなまつりスイーツ

ちょっと!?寒い季節だけど、そんなときこそ元気に遊ぼう!!
親子でつくる★モザイクキャンドルや★ひなまつりスイーツ
楽しい★レクリエーションとキラキラ幻想的な★グラスキャンドルファイヤー
今年の冬は、ひと味違う!? ウキウキの冬!



期日 平成27年 2月21日 土・2月22日 日



場所 県立青少年研修センター

- 対象 / 家族・親子（子どもは小学生以上）
- 定員 / 60名（応募者多数の場合は、抽選をさせていただきます）
- 費用 / 1人 2,500円 + 1家族あたり 1,500円

※キャンセルが発生した場合、材料費等を負担していただきます。予めご了承ください。



申し込み 平成27年
しめきり ▶ 1月31日 土

裏面の「申込用紙」に必要事項を記入し、
郵送・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。
お電話での申し込みも受け付けます。

ひなまつりに
ピッタリな
スイーツを家族で
作りましょう♪



問合せ先：新潟県立青少年研修センター（研修課）
新潟市西蒲区越前浜5597-1 TEL0256-77-2111 FAX0256-77-2114

事業名

〔物づくり体験塾in越前浜〕

目的

当センター近隣地域で活動されている芸術家・作家の方々に指導を依頼し、物づくりの様々な創作活動の研修を行うことで、地域との連携・協力体制を深め、さらに協働して青少年育成に取り組む気運を高める。

実施主体

新潟県立青少年研修センター

参加対象

小学生以上の県民

参加者数

延べ83名

回数

2回

日数

各回 1日

場所

新潟県立青少年研修センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月5日(日)	クレイアート体験	粘土細作家 渡辺 ゆき 様
	内容・方法	・オープン粘土（焼くと固まる粘土）を使って、オリジナルのスプーンまたはフォークをつくる。	
2	11月30日(日)	手ぬぐい型染め体験	染物作家 星名 康弘 様
	内容・方法	・オリジナルの型紙を作って、柿渋で染めた手ぬぐいをつくる。	

成果

・参加者は、物づくりの醍醐味を十分味わうことができた。親子連れの参加が増え、子どもたちへ創作の喜びを提供することにつながった。

課題

・リピーターが少なくないので、活動内容を吟味して毎年新鮮な気持ちで参加できるように工夫を重ねていく必要がある。

問合せ先

新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL：0256-77-2111

平成 26 年度 新潟県立青少年研修センター「物づくり体験塾 in 越前浜第 1 回」

クレイアート(粘土細工)体験

オープン粘土（焼くと固まる粘土）を使って
オリジナルのスプーンまたはフォークを作ります

今年度も 2 回に わたって「身の回りの物」にこだわった
体験講座を開催いたします。

第 1 回はオープン粘土を使用した世界にひとつだけの
オリジナルのスプーンまたはフォークをつくります。
粘土をこねて芯材に貼り付け、鳥をモチーフにしたスプーン
またはフォークを作ります（お好きな色を申し込んでください）。

県立青少年研修センターで楽しく物づくりをしてみませんか？

講師／渡辺 ゆき さん (nendog)

日時：平成 26 年 10 月 5 日（日）

9:30～受付

10:00～開会 → 作品作り

12:00～昼食

13:00～閉会

会場：新潟県立青少年研修センター

費用：1,620 円（昼食・保険・材料費込）

定員：30 名（小学生以上）*先着順

申し込み方法：電話または FAX でお願いします。
（FAX 用申込用紙は裏面にあります。ご利用ください）
注意事項：爪を短くして来てください。マニキュア等に
粘土が付着する場合があります。



問い合わせ先：新潟県立青少年研修センター（研修課）
新潟市西蒲区越前浜 5597-1 TEL0256-77-2111 FAX0256-77-2114

手ぬぐい型染め体験

オリジナルの型紙を作って、柿渋で染めた
手ぬぐいを作ります

今年度も 2 回に わたって「身の回りの物」にこだわった
体験講座を開催いたします。

第 2 回は、型紙をつくり、手ぬぐいに絵や文字、模様などを
柿渋で染めた、オリジナル手ぬぐいを作ります。

県立青少年研修センターで楽しく物づくりをしてみませんか？

講師／星名 康弘 さん（染め作家）

日時：平成 26 年 11 月 30 日（日）

9:30～受付

10:00～開会 → 作品作り

12:00～昼食

13:00～閉会



会 場：新潟県立青少年研修センター

費 用：1,620 円（昼食・保険・材料費込）

定 員：30 名（小学生以上）*先着順

持 ち 物：多少汚れてよい服装、エプロン、内履き

申込方法：電話または FAX をお願いします。

FAX の場合は送信後、着信確認のため電話にて
ご連絡ください。

（FAX 用申込用紙は裏面にあります。利用ください）



問い合わせ先：新潟県立青少年研修センター（研修課）

新潟市西蒲区越前浜 5597-1 TEL0256-77-2111 FAX0256-77-2114

事業名 中学生リーダーシップ研修

- 目的**
- ・学校行事の企画運営を模擬体験することにより、リーダーとしての資質の向上を図る。
 - ・グループワーク・トレーニングの体験を通して、コミュニケーション能力を高める。
 - ・参加者相互が交流する中で、各学校の情報を交換したりリーダーとしての自覚を高めたりする。

実施主体 新潟県立青少年研修センター

参加対象 次期生徒会役員等の中学生 **参加者数** 122名

回数 1回 **日数** 2泊3日 **場所** 新潟県立青少年研修センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月24日(水)～ 12月26日(金)	ときめく心、ひろがる思い、とどける力	青少年研修センター 研修課職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク「みんなのトンボ池」 ・演習1(企画立案)「各班で三送会の企画をつくる」 ・演習2(プレゼン)「グループ内で各班の企画発表、代表班の選出」 ・演習3(代表選出)「全体会で代表班の企画発表、模擬三送会のねらい決定」 ・演習4(模擬行事準備)「模擬三送会の準備～進行・広報、会場、出し物の各係に分かれて」 ・演習5(模擬行事実施)「模擬三送会の実施」 ・全体会「ふりかえり、まとめ」 	

- 成果**
- ・本事業は、中学校の次期生徒会役員を対象としており、参加者の意識も高く研修結果を生徒会活動の活性化につなげたいという意志が強い。また、県内各地から参加するため、地域を越えた生徒会リーダー同士の交流・交歓の場を提供する一面もある。
 - ・新生徒会役員として選出され重責から不安を抱える生徒も見られたが、研修を通して企画立案の手順や合意納得の仕方を学び、自信を深めたという感想が多かった。

- 課題**
- ・限られた時間の中で実のある研修になることを目指し、企画運営の力とコミュニケーション能力に絞って研修プログラムを組んだ。参加者の声から、効果的なプログラムは何かを検証するとともに、中学生が身につけたいと考えている力は何かを探り、次年度のプログラム開発につなげる必要がある。

問合せ先 新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL: 0256-77-2111

平成26年度 新潟県立青少年研修センター主催事業

中学生 リーダーシップ研修

ときめく心!

ひろがる思い! とどける力!

アイスブレイク



企画立案



行事の実施体験



コミュニケーション・プレゼンテーション

毎年、
県内各地から
30校前後が参加

自分の考え
相手の思い
話す・聴く

感動を
創り上げる

リーダーの
自覚

初対面の人と交流
自分の良さも発見

12/24	12:30~受付 → グループワーク → 演習
12/25	演習（模擬行事の企画立案、実施準備）
12/26	演習（模擬行事の実施） → 11:30 解散

生徒会活動
活性化

平成26年

12月24日(水)~26日(金)

対象： 県内中学校に在学する
中学1・2年生の生徒会新役員

参加費： 4,200円

会場： 県立青少年研修センター
新潟市西蒲区越前浜5597-1
☎0256-77-2111

定員120名 ※1校4名まで

先着順です!

まずはお電話を!

きっとある! 君たちだけの生徒会!

青研中で会いましょう!

事業名

グループワークトレーニング研修

目的

グループワークトレーニング研修をとおして、青少年指導者の資質や指導力の向上を図る。

実施主体

新潟県立青少年研修センター

参加対象

18歳以上（高校生を除く）

参加者数

22名

回数

1回

日数

各回1泊2日

場所

新潟県立青少年研修センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月15日（土）～ 11月16日（日）	グループワークトレーニングを体験し、自分力とチーム力を高める。	日本グループワークトレーニング協会 三好 良子 様
	内容 ・ 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いのグループワークトレーニングでアイスブレイキングを体験的に学ぶ。 ・ 自分力を高めるグループワークトレーニングで自己を見つめ直す手法を知る。 ・ 自分力を深めるグループワークトレーニングで建設的な自己表現方法を学ぶ。 ・ チーム力を高めるグループワークトレーニングで、集団における合意形成やコミュニケーションスキルを学ぶ。 	

成果

- ・ 本事業は、異年齢・異業種で行われるため、新鮮であり収穫が多いという意見がある。普段では経験することのできない交流が生まれる機会になっている。
- ・ 研修した内容を職場や地域で生かしたいと考え参加する方が多い。今年度も多くのスキルを持ち帰ることができたという声が多かった。

課題

- ・ 参加者数が定員に満たなかった。原因を探るために、昨年参加かつ今年不参加の方を対象に意識調査を実施する。調査の回答を集計し、会場・懇親会・開催曜日について再度検討し、来年度の事業改善につなげていく。
- ・ 講師が遠方に在住のため、研修内容を詳細な部分まで打ち合わせることが難しい。研修内容は講師に丸投げするのではなく、主催側のねらいに即して吟味していく必要がある。講師の選定を含めて検討していく。

問合せ先

新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL：0256-77-2111

職場で! 学校で! 自分力&チーム力 up の技がここにある!

初めての方でも
安心して参加できます♪

協働する 集団づくりのための グループワーク・トレーニング

～GWTで自分力&チーム力を高める!～

Group Work Training

グループワーク・トレーニングとは

Group

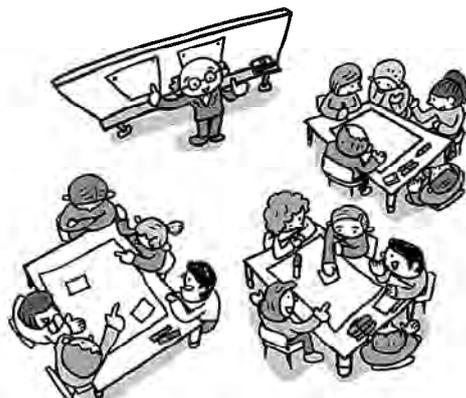
グループやメンバーを活用して

Work

ワークや活動を通してお互いの言動に気づき

Training

参画協働意識をトレーニングする
ラボラトリー方式の学習方法です。



参加者募集

11月15日(土)～11月16日(日)

県立青少年研修センター

新潟市西蒲区越前浜5597-1 TEL 0256-77-2111

■充実の1泊2日・5プログラム ※詳細は裏面に

■参加費/3,000円(食事代・宿泊代込)

■定員/先着30名 ※定員になり次第締切

■申込み/電話でお申し込み下さい。

☎ 0256-77-2111

人材育成コンサルタント。人間関係学が専門。人間力&関係力能力開発のスペシャリスト。大学等で講師を務めながら、全国で講演・研修のほかビデオ監修やテレビ出演などを行う。

特別講師:

日本グループワーク・トレーニング協会

理事長 三好 良子



事業名

青研スキルアップセミナー

目的

青少年指導者としての専門的な知識・技術を体験的に学び、地域や職場における指導者の養成及び資質の向上を図る。

実施主体

新潟県立青少年研修センター

参加対象

18歳以上の方（高校生を除く）

参加者数

延べ52名

回数

2回

日数

第1回日帰り 第2回1泊2日

場所

新潟県立青少年研修センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月20日(日)	満喫！春の山歩き in 角田山	公益社団法人 日本山岳ガイド協会 山岳ガイドステージⅡ 佐藤 賢 様
	内容・方法	・角田山登山と野外活動の危機管理についての講義をとおして、自然にふれあう楽しさを体験するとともに安全な野外活動の基本的な知識・技術を身につける。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	5月10日(土)～ 5月11日(日)	レクリエーション	日本レクリエーション協会 井上 眞一 様 小泉 敦 様 豊嶋 亜紀子 様 西脇 秀和 様
	内容・方法	・レクリエーション実習をとおして、基礎的なレクリエーションの指導法を研修するとともに望ましい人間関係のあり方について学ぶ。	

成果

・地域や職場でのリーダーが事業を企画する際の知識・技術及びヒントを十分に提供できた内容であった。

課題

・受講者の年齢層に幅が出てきており、多様なニーズに対応するために、受講者の様子、成果や課題をもとに次年度の研修内容の検討をしていく。

問合せ先

新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL：0256-77-2111

参加者大募集！

満喫！春の山歩き

in 角田山

温泉付き
だよ～ん！

～角田山に登って元気になろう！～

角田山登山をとおして、豊かな自然を感じながら、
安全な山歩きのポイントを学びませんか？

講師

佐藤 賢(さとうまさる) 氏

1953年福島県生まれ
北アルプス、八ヶ岳、
谷川岳、飯豊連峰をは
じめとする越後や会津
の山々を中心にハイキ
ング、縦走、沢登り、岩
登り、アイスクライミン
グ、山スキーなど、多岐にわたりガイドとし
て活躍中。



公益社団法人日本山岳ガイド協会
山岳ガイドステージⅡ、スキーガイドステージⅡ
ローツエ、K2、チョモランマなどヒマラヤ 8000m峰
に挑戦、1998年には新潟県在住初のチョモランマ
登頂者となる。

と き 平成26年4月20日(日)
9:00(受付)
10:30～角田山登山
15:00～温泉入浴(じょんのび館)
18:00～リスクマネジメント講座
20:00 終了

ところ 県立青少年研修センター、
角田山、じょんのび館

対 象 18才以上の方(高校生は
除きます)

定 員 30名

参加費 2,050円

(地図代、夕食代、保険代、
雑費等)

新潟 青少年

検索

ホームページも
ご覧ください



青研スキルアップセミナー

レクリエーション

1泊2日は…ちょっと長い？ そんなことはありません！

P.T.A活動や子供会行事、学級レク、職場レク etc
「何をしたらいいの？」「楽しいレクってどんなの？」
「子供からお年寄りまでみんなのできるもの無い？」

全部まとめて2日間で体験しちゃいます！



LET'S チャレンジ！



平成
26年

5月10日土~11日目

野外レクリエーション
屋内レクリエーション
アイスブレイク

講師：新潟県レクリエーション協会



申し込み受付中

参加費
2,900円

(食費・諸経費込み)

対象：18歳以上の方(高校生を除く)

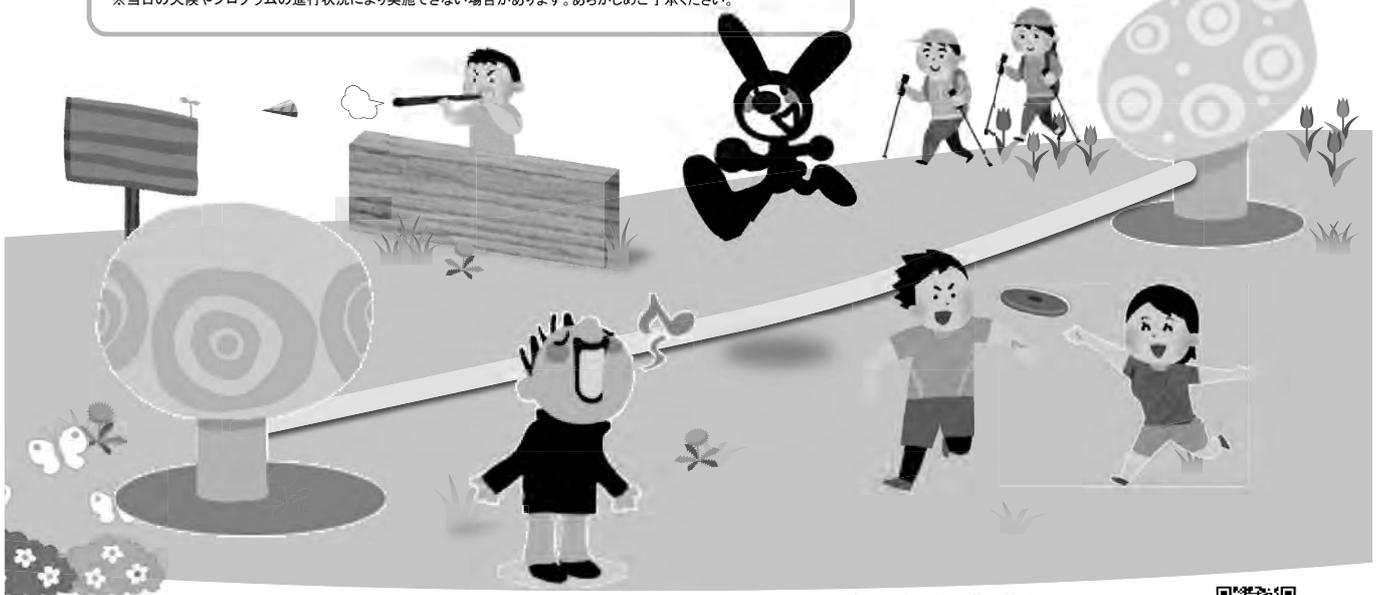
定員：30名(定員を超えた場合は抽選)

締切：4/25(詳細は裏面)

研修内容(予定)

- 10日 研修① アイスブレイクの手法
- 研修② カーリンコン、ラダーゲッター、ニチレクボール、マンカラ
- 11日 研修③ ボールウォーキング、フローライフ、レク式バイアスロン
- 研修④ スラックライン、ヴォータックスフットボール、カローリング、クッパ

※当日の天候やプログラムの進行状況により実施できない場合があります。あらかじめご了承ください。



新潟県立青少年研修センター

新潟県新潟市西蒲区越前浜5597-1

TEL (0256) 77-2111

FAX (0256) 77-2114

<http://www.pref.niigata.lg.jp/seisyouner/>



事業名	〔 自然・ふれあい！家族のつどい 〕		
目的	春・秋・冬の自然体験を通して、家族のふれあいを深める		
実施主体	新潟県少年自然の家		
参加対象	小・中学生を含む家族	参加者数	202名
回数	3回	日数	各回1泊2日
場所	新潟県少年自然の家（胎内市乙字大日裏）		

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月19日(土) ～4月20日(日)	春色手打ちうどん&いちご狩り	所 員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子で協力して、3色（桜色・若草色・白色）の手打ちうどんを作って食べた。 ○ 桜や草花が見頃の中、地域の商店やいちご農園、寺院の協力を得て町中散策を行い、家族のふれあいや他家族との交流を深めた。 	
2	9月6日(土) ～9月7日(日)	バーベキュー&カヌー・釣り	所 員 非常勤職員 カヌー指導ボランティア
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野外で鉄板や網を使ったバーベキューや鳥肉・チーズの燻製作り挑戦した。爽やかな秋空の下、野外テーブルを囲んで、他家族と交流しながら楽しく食事をした。 ○ 胎内川河口でカヌーや釣りをし、家族のふれあいを深めるとともに、自然の豊かさを体感した。 	
3	12月6日(土) ～12月7日(日)	クリスマスパーティー&リース作り	所 員 胎内市教育委員会
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ クリスマスクッキングやパーティーを通じて、家族のふれあいや他家族との交流を深めた。 ○ 雪道を歩いてヒイラギの葉を採集し、親子で協力してクリスマスリースを作った。希望者は、松ぼっつり作りにも挑戦し、冬の自然に親しんだ。 	

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌーやレクリエーション、クッキング等の自然体験活動や宿泊活動を通して、家族のふれあいが深まり、さらに他家族とのかかわりも生まれ、貴重な体験ができたという高い評価（満足度）を得ている。 ・地域の方々の協力を得て、地域特有の文化や産業、食に関するプログラムの内容の充実を図っている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の方法を工夫しながら、より多くの参加家族の獲得を目指す。 ・アンケートに寄せられる参加者の声を大切にしながら、事業改善を図っていく。

問合せ先 新潟県少年自然の家 指導課（担当：中谷 記子） TEL:0254-46-2224

事業名	〔 チャレンジわんぱく 〕		
目的	①自然に親しむ ②自主的に行動できる ③集団生活を通じて社会性を育む		
実施主体	新潟県少年自然の家		
参加対象	県内小学校4～6年生	参加者数	180人
回数	3回	日数	各回1泊2日
場所	新潟県少年自然の家・胎内川カヌー場・大峰山・胎内スキー場		
内容	全3回を通じて活動することを前提として、季節に応じた活動内容を設定する。		

	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月26日(土)10:00～ 27日(日)～16:00	サマーチャレンジ 『夏の出会い！笑顔で出航！』	所員
	内容・方法	◎アウトドアクッキング（班別野外炊さん：チキンカレー、ヨーグルトサラダ） ◎キャンプファイア ◎カヌー体験	
2	10月4日(土)10:00～ 5日(日)～16:00	オータムチャレンジ 『秋まるかじり！目指せ山頂！』	所員 登山ボランティア
	内容・方法	◎アウトドアクッキング（班別野外炊さん：ポークソテー、いも煮汁） ◎レクリエーション（肝試し：乙宝寺コース） ◎登山（胎内市大峰山）	
3	平成27年 1月24日(土)10:00～ 25日(日)～16:00	ウインターチャレンジ 『雪と仲良く！ゲレンデは友達！』	所員 胎内市スキークラブ
	内容・方法	◎伝承文化体験（さいのかみ：どんど焼き） ◎伝統文化体験（もちつき） ◎スキー体験（胎内スキー場）	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各回とも参加者の満足度は高く、目的を達成できている。全県各地域からの参加であるが、トラブルもなく良好な人間関係を構築できている。 ・回を追うごとに、参加者の態度が変容し、その成長がうかがえるため、所員もやりがいを感じている。
課題	<p>基本的に、新規申込者を優先するため、年度を越えて連続参加ができない場合がある。募集定員内に収まらずに連続参加できない場合の対応に、一考の余地がある。</p>

問合せ先 新潟県少年自然の家 指導課（担当：三 膳 章）TEL：0254-46-2224

《主催》新潟県教育委員会・新潟県少年自然の家

チャレンジわんぱく

チャレンジャー募集！自然体験チャレンジで、心も体もたくましく！

【目的】○自然に親しむ心や自然への畏敬の念を育みます
○勇気をもって行動することの大切さに気付かせます
○人を思いやる心を育て、集団生活をする上でのルールやマナー等の社会性を育てます

【対象】小学4～6年生（3回すべてに参加できる人） 定員 70名

【参加費】3回合計 11,000円（内訳：食事代、活動費、おやつ代、保険代等）

【第1回 3,600円・第2回 3,400円・第3回 4,000円】 ※回により多少変更になる場合があります。

【予定】

第1回 サマーチャレンジ 『夏の出会！ 笑顔で出航！』	第2回 オータムチャレンジ 『秋まるかじり！ 目指せ山頂！』	第3回 ウィンターチャレンジ 『雪と仲良く！ ゲレンデは友達！』
【日時】 平成26年7月26日（土） 7月27日（日）	【日時】 平成26年10月4日（土） 10月5日（日）	【日時】 平成27年1月24日（土） 1月25日（日）
【内容】 ○カヌー ○アウトドアクッキング	【内容】 ○登山 ○アウトドアクッキング	【内容】 ○スキー ○伝承文化体験（どんと焼き、もちつき）
【活動場所】 ○胎内川河口 ○新潟県少年自然の家	【活動場所】 ○大峰山 ○新潟県少年自然の家	【活動場所】 ○胎内スキー場 ○新潟県少年自然の家

はじめてでも大丈夫！
経験豊富なスタッフが優しくサポートします！



～保護者の皆様へ～

◇ 自然の家への送迎については、原則として保護者の方をお願いいたします。ただし、送迎の都合がつかない方のために、中条駅から少年自然の家まで、当所のバスを運行します。

【申込方法】 ○保護者の方が、電話・FAX・郵便〔6月25日必着〕・メールのいずれかで申し込んでください。（申し込み多数の場合は、抽選となります）

申込期間：6月17日（火）～6月25日（水）17:00まで

申込先：新潟県少年自然の家（チャレンジわんぱく担当）

〒959-2602 胎内市乙字大日裏

TEL：0254-46-2224 FAX：0254-46-3070 e-mail：ngt503060@pref.niigata.lg.jp

※申込書はホームページからダウンロードできます。メールに添付する等ご活用ください。

※7月1日以降に参加決定のお知らせ等をお送りいたします。

※新潟県少年自然の家ホームページにも昨年の様子等が掲載されています。是非ご覧ください。

新潟県少年自然の家

検索

クリック

きりとり

チャレンジわんぱく 郵送・FAX参加申込書（FAXの場合は、このまま切らずに送信してください。）

	児童名	ふりがな	性別	小学校名	学年
1					
2					

保護者名	郵便番号	住所	電話番号

事業名 [生涯学習推進職員研修会「基礎研修会」]

目的 生涯学習・社会教育関係職員等の資質向上を図るために必要な基礎的・基本的事項について研修し、生涯学習の推進を図る。

実施主体 新潟県立生涯学習推進センター

参加対象 市町村生涯学習・社会教育関係職員等 **参加者数** 延べ125名

回数 4回 **日数** 4日 **時間** 24時間

場所 新潟県立生涯学習推進センター大研修室・制作演習室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月15日(水) ～16日(木) 10:30～16:30	「生涯学習の実際」 ・先輩から学ぶ～(15日) ・学習事業成功の秘訣(16日)	15日 講師：十日町市教育委員会 社会教育主事 小川 清貴 様 16日 講師：日本大学 文理学部 教授 佐藤 晴雄 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・県内生涯学習推進の取組を実績のある方から発表してもらい実務について知る。 ・生涯学習の基本的な理念と学習事業企画する上でのポイントを講義やグループワークで押さえる。 	
3	期日・時間	テーマ	講師等
	5月15日(木) 10:00～16:30	学びを深めるプログラム構成・幅広く伝える広報・宣伝	講師：千葉大学 非常勤講師 越村 康英 様
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを深める学習プログラム立案の仕方を段階ごとの要点について講義。 ・グループワークで模擬学習プログラムを作成する。 		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	11月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の取組 ・コミュニケーションスキル向上 ・講演会 「地域の明日を拓く生涯学習の推進 ～東北大震災からの体験を通して～」	新潟県立生涯学習推進センター 副参事 長谷川 明寿 講演講師 東北大学大学院 准教授 石井山 竜平 様
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各自作成した事業プログラムチェックと各自が作成した事業計画について意見交換する。 ・コミュニケーションスキル向上のため、「聞き方」「話し方」の演習で学ぶ。 ・講演会を通して社会教育の本質や必要性について考える。 		

成果 ・県外第一線の専門講師により、生涯学習の基本を講義いただいた。また、グループ演習を通して、実践的な取組につながる研修を目指すことができた。

課題 ・受講者の取組の成果と課題を情報交換等し、次年度の研修に生かす。

問合せ先 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課 (担当：長谷川明寿) TEL：025-284-6110

平成26年度 生涯学習推進 職員のための

基礎研修会



★これからの生涯学習推進に必要なスキルと視点を県内外で活躍されている講師により、実践的に学べる場です。初めて生涯学習推進に取り組む方はもちろん、学び直したい担当経験者まで、多くのみなさんの受講をお待ちしています。

平成26年 月 日	講師紹介
【第1回】 5月8日(木) 講義と演習	「生涯学習の実際～先輩から学ぶ～」 講師：十日町市教育委員会 社会教育主事 小川清貴 様 ※生涯学習に関わる全国の職員や研究者とつながりながら、公民館・図書館・生涯学習課等で10年にわたり活躍中！
【第2回】 5月9日(金) 講義と演習	「学習事業成功の秘訣！ 研修・講座の作り方」 講師：日本大学 文理学部 教授 佐藤晴雄 様 ※わかりやすい講義と演習で全国各地の研修会で大反響の人気講師！全国コミュニティ・スクール連絡協議会事務局長兼任
【第3回】 5月15日(木) 講義と演習	「学びを深めるプログラム構成・幅広く伝える広報・宣伝」 講師：千葉大学 非常勤講師 越村康英 様 ※11年間社会教育指導員の経験から、市民の目線に立った企画運営のプロ 現在 千葉大学を基軸に全国で活躍中！
【第4回】 11月21日(金) 講義と演習	「地域の明日を拓く生涯学習の推進」 講師：東北大学 准教授 石井山竜平 様 ※東北大震災の体験と事例から、これからの生涯学習推進・社会教育の在り方を深く問う講義は必聴！

- ◆会場：新潟県立生涯学習推進センター（県立図書館複合施設）
- ◆対象：県内生涯学習推進関係職員
- ◆参加費：無料
- ◆定員：40名（4回連続受講の方を優先します。）
- ◆申込〆切：平成26年5月1日（木）必着

* 申込方法等の詳細は別紙要項をご覧ください。下記担当へ直接ご連絡いただいても OK

お問合せ：新潟県立生涯学習推進センター担当 長谷川あて

電話025—284—6110

申込書 裏面参照

事業名

〔 コミュニティリーダー研修会 〕

目的

NPO・行政・学校や個人等が多様なコミュニティづくりを推進していくことが求められている。その中核となるリーダーとしての資質と力量を向上させる

実施主体

新潟県立生涯学習推進センター

参加対象

市町村生涯学習・社会教育関係課長・係長、公民館長、県・市町村において社会教育主事として発令されている方、NPO・PTA等の団体役員

参加者数

48名

回数

1回

日数

1日

時間

5時間

場所

新潟県立生涯学習推進センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月9日(火) 9:50～16:00	「公民館から始まる～まちおこし～」	松本大学 教授 白戸 洋 様
	<p>1 概要（日程・内容） 研修1 講義 「公民館で地域がよみがえる」(10:00～12:00) 講師 松本大学 教授 白戸 洋 様</p> <p>【講義概要】 「地域をどう考えるか」について、東日本大震災の時に、日頃のつきあいがあった地域は助け合うことができた。しかし、震災のような極限状態が起こらないと地域住民のつながりを特に必要にしなくても生きていける社会になってしまった。そのことから、形骸化した公民館はいらぬが、公民館みたいなものは必要だということを通して感じているのではないかと。現状では時間はかかるが、地域課題に敏感になり、共通の課題を練り上げることが大切である。地域課題につながり、地域を活性化させる手立てとして、①「コミュニティビジネスを重視する。」地域から経済が流失して地域が衰退した。公民館発信で地域経済を活性化させる。②「具体的に始める。」地域の課題は、足下の実践から浮き彫りにされる。やりながら考える。意識や理念が行動につながるというより、行動が意識を規定することを実際の取組から学んだ。③「次の世代に伝える。」若者にとって地域は居心地がよいか。若者を地域の主役にする。さらに、公民館の3つの役割は①学習の拠点②自治の拠点③実践の拠点である。</p> <p>研修2 演習 情報交換 公民館の現状と課題 (13:00～14:15) 今の公民館の現状と課題についてワールドカフェ方式でフリートークを行った。少子高齢化を背景とする人材不足や事業のマンネリ化など様々な課題が出され、参加者同士が熱心に話し合うことができた。</p> <p>研修3 演習 公民館から始まるまちおこし～新しい公民館の姿を考える～ (14:30～16:00) 講義や情報交換をもとに、これからの新しい公民館の姿について班ごとに話し合った。次に話し合いの結果を発表した。そこでは「出会いの公民館」「学校とコラボする公民館」「よろずや公民館」など、自由な発想で新しいニーズに対応する公民館の形が提案された。また、講師より班ごとに助言がありさらに理解が深まった。</p>		

成果

・講義及びグループワークにおいて参加者同士の意見交換ができたことが満足度に結びついた。(研修会満足度 91%)

課題

・コミュニティリーダーとして公民館職員を対象にすることで、改めて公民館が地域づくりの推進役としての重要なことを参加者一人一人が再認識できる場となった。

問合せ先

新潟県立生涯学習推進センター学習振興課（担当：長谷川明寿）TEL：025-284-6110

公民館から始まる「まちおこし」

～生涯学習推進職員のための学び場～

★これからの地域コミュニティづくりに向けて公民館が担う新しい役割とは？
講師に、第一線で活躍される松本大学の白戸洋先生をお迎えし、地域づくり
の未来を考えます。

日時 9月9日 火

10:00～16:00

★面白い。
★ためになる。
★やる気が出る。
全国評判の
講師

◆講師：松本大学 総合経営学部観光ホスピタリティ学科
教授 白戸 洋 様

◆研修内容

内	容
講義及びグループワーク	
「公民館で地域がよみがえる」	
～学習的手法による地域づくり 信州・松本からの発信～	



◆会場：新潟県立生涯学習推進センター
(県立図書館複合施設) 大研修室

◆対象：・市町村生涯学習関係職員
・社会教育主事 NPO 等の地域づくりに関心のある方

◆参加費：無料

◆定員：50名

◆申込締切：9月1日(月) 必着

* 申込方法等の詳細は裏面をご覧ください。
新潟県立生涯学習推進センター担当 長谷川あて
電話025-284-6110



事業名	〔 事業企画力スキルアップ研修会 〕		
目的	地域の様々な課題に対応した学習機会の充実を図るために、事業企画立案のポイントやその手法について学び、資質能力の向上を図る。		
実施主体	新潟県立生涯学習推進センター		
参加対象	市町村生涯学習・社会教育関係職員・NPO等	参加者数	延べ71名
回数	2回	日数	2日
場所	新潟県立生涯学習推進センター		
内容			

	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月13日(金) 10:00~16:00	行列のできる講座チラシの作り方〈基礎編〉	NPO扉 指田 祐美 様
	内容・方法	<p>研修1 講義・演習「〈基礎編①〉 事例でよく分かる、行列のできる講座と企画のツボ」 (10:00~12:00)</p> <p>①人が集まらない組織のイイワケ TOP3・番外編 集客に必要なことは「企画力」と「広報力」。</p> <p>②企画力“向上”のための分析ゲーム 4種類のチラシの集客の順位や問題点をグループで検討し発表。</p>  <p>研修2 講義・演習「〈基礎編②〉 思わず手にとるチラシの見分け方」 (13:00~16:00)</p> <p>①ダメダメチラシと Before After チラシ集 ・チラシの「ダメダメ」な箇所をグループで検討し発表。 ・チラシの Before After を比較し、効果的なチラシのポイントを説明。</p> <p>②Wordを活用した実践演習</p>	
	期日・時間	テーマ	講師等
2	11月7日(金) 10:00~16:00	行列のできる講座チラシの作り方〈実践編〉	NPO扉 指田 祐美 様
	内容・方法	<p>研修1 講義・演習「〈実践編①〉 実践！手にとるチラシの作り方」 (10:00~12:00)</p> <p>①ゴールデンスポット、タイトルの位置などチラシのレイアウトを説明。 ②2つの課題チラシの問題箇所をグループで検討し発表。</p> <p>研修2 演習「〈実践編②〉 もっとチラシを活かすために今すぐ出来ること」 (13:00~16:00)</p> <p>「シルバー」「子育て」のどちらかのテーマについて、グループで実際にチラシを作成し発表。</p>	

成果	アンケートの結果によると、研修を受けての成果・今後の活動に役立つかという点で、肯定的評価が100%であり、第1回目・2回目と合わせて、受講者の満足度は高かった。企画やチラシ作りのポイントを学ぶことができた、有意義な研修会であった。
課題	プログラムや運営に関しては、研修日を2日間に拡大したため、昨年度と比較してより充実した研修内容となったが、2日間の間隔が空きすぎていたので、もう少し近い時期にしても良かった。

問合せ先 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課 (担当：杉本さやか) TEL：025-284-6110

特典満載!
チラシの添削つき

行列のできる講座 チラシのつくり方

「事業を企画したのに、人がなかなか集まらない…」
そんな思いをしたことのある人は必見!
人を引きつける企画とチラシづくりのノウハウを確実に習得
できる人気講座が、2日間に拡大されて開催!
さらに、自作のチラシを講師より添削してもらえる特典つき!



日時 **6/13(金) 11/7(金)** 参加費 **無料**

9:50～16:00 (受付9:30から)

会場 新潟県立生涯学習推進センター大研修室 (県立図書館複合施設)

企画した講座はすべて
定員オーバーにさせる
凄腕カリスマプランナー

講師

NPO 扉 指田祐美 様

◆対象 生涯学習・社会教育関係者
公民館職員、NPO関係者 等
※2日間出席できる方を優先します。

◆定員 40名

◆申込締切 5月30日(金)

◆1日目 6/13(金)

【基礎編①】 実例でよく分かる、行列のできる
講座と企画のツボ

【基礎編②】 思わず手にとるチラシの見分け方

◆2日目 11/7(金)

【実践編①】 実践! 手にとるチラシの作り方

【実践編②】 もっとチラシを活かすために今すぐ
出来ること

事業名

〔 古文書解読講座 〕

目的

古文書の解読を通じて文書等の保存についての普及・啓発をはかるとともに、新潟県の歴史に対する理解を深める学習機会を県民に提供する。

実施主体

新潟県立文書館

参加対象

一般県民

参加者数

延べ838名

回数

10回

日数

1日又は2日

時間

1日2時間

場所

新潟県立文書館

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
1	夏季:Aコース5/14, 21 Bコース5/16, 23 秋季:Aコース9/10, 17 Bコース9/12, 19 13:30～15:30	はじめての古文書講座（夏季、秋季）	講師：新潟県立文書館 嘱託員 岡田佐輝子
	内容	古文書に触れることが初めての人を対象にした入門講座。古文書の基礎知識やよく使われる表現等の解説を行った。	
2	夏季:6/6 秋季:9/26 13:30～15:30	初級へのステップアップ古文書講座 （夏季、秋季）	講師：新潟県立文書館 嘱託員 岡田佐輝子
	内容	初級解読講座参加を目指した古文書解読の演習講座。典型的なくずし字で書かれている近世の古文書をテキストとして用い、変体がなや基本的な用語を中心に演習と解説を行った。	
3	夏季:6/20, 27 秋季:10/10, 17 13:30～15:30	古文書初級解読講座（夏季、秋季）	講師：新潟県立文書館 主任文書研究員 尾崎法子
	内容	典型的なくずし字で書かれている近世の古文書をテキストとして用い、変体がなや基本的な用語を中心に文字の解読や時代背景の解説を行った。	
4	夏季:7/18, 25 秋季:11/14, 21 13:30～15:30	古文書解読講座（夏季、秋季）	講師：新潟県立文書館 嘱託員 亀井功
	内容	越後に関係する近世の古文書をテキストとして用い、文字の解読や時代背景などの解説を行った。	

成果

- 古文書解読のグレードを、はじめて・ステップアップ・初級・解読の4グレードに分けて実施した。はじめての古文書講座は、少人数クラスによる丁寧な進め方が大変好評であった。

課題

- 特記事項なし

問合せ先

新潟県立文書館 TEL：025-284-6011

ふれて学べる！

H26 年度新潟県立文書館主催

春季

はじめての 古文書講座

古文書が全く初めての方向けの講座です。少人数のクラスで、気軽に質問をしながら学べます。本物の古文書に触れることもできます。

古文書の基礎知識と、数字、年号、干支、方角等の語句や、「御座候」等のよく使われる表現を学びます。



定員各 15 名

講師 岡田 佐輝子
(新潟県立文書館嘱託員)

期日

A コース : 5 月 14 ・ 21 日 (水)
B コース : 5 月 16 ・ 23 日 (金)
全 2 回

A・B は内容・講師ともに同一です。どちらか一方にお申込みください。

時間

午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 30 分
受付開始は午後 1 時から

会場

新潟県立文書館共同研修室 1 ・ 2 (1 階)



いきいき県民カレッジ登録講座

お申込み方法は裏面をご覧ください。

新潟県立文書館主催

夏季

初級への ステップアップ古文書講座

秋の初級講座を目指して、復習しながら古文書を読んでみましょう。

「初めての古文書講座」からのステップアップ講座です。



講師 岡田 佐輝子
(新潟県立文書館嘱託員)

期日 平成26年6月6日(金)

時間 13:30～15:30
(受付開始13:00から)

定員30名

会場 新潟県立文書館大研修室

※定員に達した場合は締め切らせていただきます。

申込み方法は、裏面をご覧ください。



いきいき県民カレッジ登録講座

古文書初級 解読講座

夏季

新潟県立文書館主催



テキストを通じて、古文書の読み方や内容を学ぶ講座です。
証文や手形など、一枚ものの文書を読み切ることを目標とします。

参加者の感想

- ★とても分かりやすく教えてくださいありがとうございました。
資料も興味深い内容のものをご準備くださりありがとうございました。
- ★受講を重ねるたびに興味が増し、古文書に触れた時、少しでも読めることが増えてきた。今後も継続して受講したい。

定員 60 名

講師

尾崎 法子
(新潟県立文書館主任文書研究員)

期日

平成26年6月20・27日(金) 全2回

時間

13:30~15:30 (受付開始は 13:00 から)

会場

新潟県立文書館 2階大研修室

※定員に達した場合は締め切らせていただきます。

申込み方法は、裏面をご覧ください。

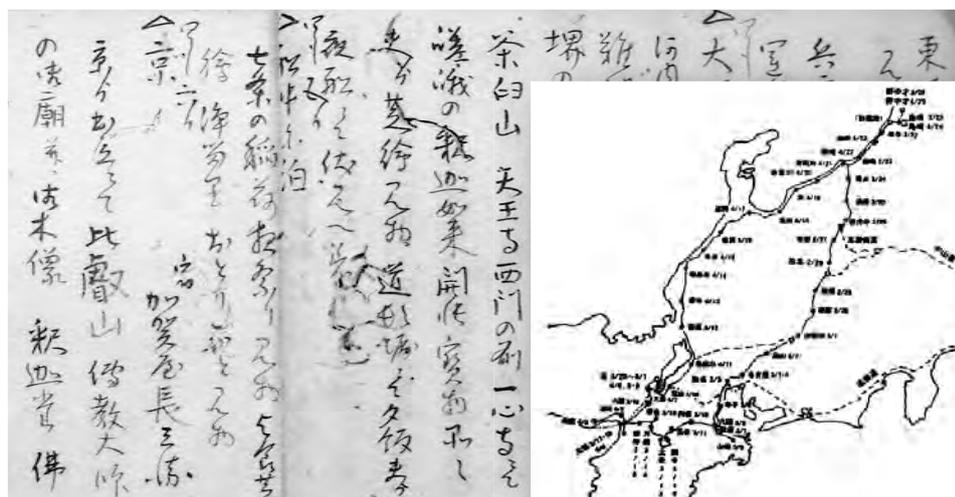


■ 古文書解読講座 ■

『道中記』を読んで 「京まいり」をたのしもう

「道中記」とは、江戸時代に書かれた旅行記・旅行ガイドブックのことです。

「道中記」を解読しながら、60余日の西国巡りをした越後人の旅を追体験することで、江戸時代の旅を味わっていきましょう。そこには、当時の人々の教養の高さへの驚きが待っています。



講師

かめい こう
亀井 功 (新潟県立文書館嘱託員)

期日

平成26年7月18・25日(金) 全2回

時間

13:30~15:30
(受付開始は 13:00 から)

会場

新潟県立文書館ホール

定員 180名
(事前申込・先着順)

申込み方法は、裏面をご覧ください。

 いきいき県民カレッジ登録講座

新潟県立文書館主催

古文書解読講座

新潟県立文書館主催

江戸時代の

庶民の湯治

— 治療それとも娯楽? —

定員 180名

【事前申込・先着順】

講師 亀井 功

(新潟県立文書館嘱託員)



現代の湯治は、昔と比べてずいぶん様変わりしています。『越後土産』などから越後国内の湯治場を尋ねます。

越後の温泉の評判は全国的にはどうだったのでしょうか。どんな湯治の仕方をしていたのでしょうか。今回は、史料を使って湯治の原点に立ち返っていきます。

期 日

平成 26 年 11 月 14 日 (金) (全2回)
11 月 21 日 (金)

時 間

13:30~15:30 (受付開始 13:00~)

会 場

新潟県立文書館ホール

申し込み方法は、裏面をご覧ください。



いきいき県民カレッジ登録講座

事業名

〔 文書館教養講座 〕

目的

文書館所蔵資料等を用いて、あまり知られていない新潟県の歴史について掘り起こす1回完結のミニ講座を提供する。

実施主体

新潟県立文書館

参加対象

一般県民

参加者数

2回延べ346名

回数

8回

日数

8日

時間

1日60分

場所

新潟県立文書館

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
1	4/23 13:30～14:30	第1回文書館教養講座 「古地図が誘う越後の中世」	講師：新潟県立文書館 副館長 中川浩宣
	内容・方法	文書館所蔵資料をもとに、越後の中世の地理的環境を読み取り、中世越後の様相と近世以降への展望を解説した。	
2	8/21 13:30～14:30	第2回文書館教養講座 「吉田松陰、越佐を行く—45日の滞在とその後—」	講師：新潟県立文書館 主任文書研究員 加納直恵
	内容・方法	文書館所蔵資料をもとに、幕末の越後・佐渡を訪れていた吉田松陰について解説した。	
3	12/25・1/8・1/22 13:30～14:30	文書館教養講座「信濃川の治水、混沌から収束へ」 第3回 近世編 「対立する二論 —中ノ口川改修か信濃川分水工事か—」 第4回 近代編 「機は熟した！—大河津分水着工へ—」 第5回 思想編 「水と向きあう—人と思想をたどる—」	講師：新潟県立文書館 嘱託員 富井秀正 嘱託員 岡田佐輝子 主任文書研究員 尾崎法子
	内容・方法	秋の文書館特別企画展「所蔵資料にみる越後平野の履歴書」に関連したテーマを設定して、3回連続の講座として実施する。文書館所蔵資料をもとに、近世から近代にかけての信濃川の治水に関する歴史とその思想的背景を、3回連続のシリーズで解説する。	

	期日・時間	テーマ	講師等
4	12/25・1/8・1/22 13:30～14:30	文書館教養講座 第6回 「越後の“サイの神” —民衆の味方でありつづける神様—」 第7回 「昭和初期の新潟県交通事情 —ひろがる鉄道網とその後—」 第8回 「越後一宮弥彦神社の変貌と越後平野 —秘められしにしえの遷座—」	講師：新潟県立文書館 嘱託員 小竹祥 主任文書研究員 高橋克己 嘱託員 福田則男
内容・方法	文書館所蔵資料や『新潟県史』を使用して、多くの県民が地域の歴史に興味・関心を持ってもらえるテーマを設定し、新潟県の歴史についての基本的な知識を解説する、1回完結のミニ講座として実施する。		

成 果	・ 新潟県の歴史に関する特定のテーマを設定し、文書館職員によるミニ講座としたことで、新潟県の歴史に気軽に興味を持ち楽しんで参加してもらえる講座となった。
課 題	・ 特記事項なし

問合せ先 新潟県立文書館 TEL025-284-6011

第1回文書館教養講座

古地図が誘う^{いざな} 越後の中世

そ～だったのか!!
新潟の歴史

講師 中川 浩宣

(新潟県立文書館副館長)

定員 180 名

いにしえ
古の、11世紀の越後を描いたとされる「越後古図」。真偽の評価が分かれるこの謎の絵図から読み取る情報と通説を結びつけて、越後の中世の姿に迫ります。

期日

平成 26 年 4 月 23 日 (水)

時間

13:30 から 14:30 まで (受付 13:00～)

会場

新潟県立文書館ホール

※定員に達した場合、締め切らせていただきます。

入場無料

文書館基礎講座が、4月から全8回の「文書館教養講座」としてスタートします。文書館所蔵資料などを使い、あまり知られていない新潟県の歴史について掘り起こすミニ講座です。ぜひ、ご参加ください。



いきいき県民カレッジ登録講座

申込み方法は、裏面をご覧ください。

第2回県立文書館教養講座

吉田松陰

入場無料

越佐をゆく

— 45日の滞在とその後 —

そ～だったのか!?
新潟の歴史



山口県文書館所蔵（絹本着色吉田松陰像（自賛））

講師 加納 直恵

（新潟県立文書館主任文書研究員）

幕末の志士吉田松陰。22歳の彼は自らの経験と知識を求めて巡遊の旅をし、越後佐渡にも来ていました。その後、ペリー率いる黒船に乗り込みアメリカ渡航を企てるも果たせず、松下村塾で多くの人材を育て、安政の大獄に連座して30歳でこの世を去りました。彼は、この旅の中で何を見て聞いて感じたのでしょうか。

約160年前の越後佐渡における彼の足跡を追いかけます。

期日

平成26年8月21日(木)

時間

13:30から14:30まで(受付13:00～)

会場

新潟県立文書館ホール

定員180名

<事前申込み・先着順>

申込方法は、裏面をご覧ください。



いきいき県民カレッジ登録講座

信濃川の治水 混沌から収束へ

そうだったのか
新潟の歴史?

特別企画展で越後平野の景観変遷と開発の歴史を紹介しました。新潟開発が進んだ江戸時代において、信濃川下流域の水田地帯は水害常襲地になっていきます。そして、水害への対策は生きていくための最大の課題だったのです。

人々はどのようにしてこの課題を乗り越えてきたのか、3回の講座をとおして探っていきます。



入場無料

文書館教養講座

- 第3回 平成26年12月25日(木) 小泉蒼軒肖像画
対立する二論—中ノ口川改修か信濃川分水工事か—
- 第4回 平成27年1月8日(木)
機は熟した!—大河津分水着工へ—
- 第5回 平成27年1月22日(木)
水と向きあう—人と思想をたどる—



各回定員 180名
《事前申込が必要です》

時間：13：30～14：30（受付13：00～）
会場：新潟県立文書館ホール

※各回ごとのお申込みをお願いいたします。
※定員に達した場合、締め切らせていただきます。

お申込み方法 電話・FAX・Eメールのいずれかで下記宛先までお申込みください。Eメールでお申込みになる方は、お名前（ふりがな）、電話番号（連絡先）、「文書館教養講座申込み」、参加希望の講座の旨ご明記ください。

お申込み・お問い合わせ先

新潟県立文書館 ※講座申込みの受付時間は、月曜日～金曜日の午前9時から午後5時までです。

●電話 025-284-6011 ●FAX 025-284-8737

●Eメール archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp

講座内容は裏面をご覧ください。

事業名

〔 文書館歴史講座 〕

目的

特定のテーマを設定し、より多くの県民に新潟県の歴史に対する興味・関心をもってもらえる講座を提供する。

実施主体

新潟県立文書館

参加対象

一般県民

参加者数

2回延べ252名

回数

3回

日数

3日

時間

1日1時間30分

場所

新潟県立文書館

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
1	7/12 1:30～15:00	第1回文書館歴史講座 「越後川中島ものがたり—弥彦山の山頂から—」	講師：長岡工業高等専門学校准教授 田中聡
	内容・方法	越後の中世文書に出てくる「川中島」をキーワードに、かつて河川と潟湖に囲まれていた弥彦山周辺の歴史について解説した。	
2	12/13 1:30～15:00	第2回文書館歴史講座 「錦絵『新潟湊之真景』と新潟開港」	講師：新潟県立文書館 文書調査員 菅瀬亮司
	内容・方法	『新潟湊之真景』を題材に、江戸時代末期の新潟湊や新潟町の様子を分析し、新潟開港に至る過程を解説した。	
3	3/7 13:30～15:00	第3回文書館歴史講座 「未定」	講師：新潟県立文書館 嘱託員 亀井功
	内容・方法	文書館の所蔵資料等を用いて、特定のテーマに沿った新潟県の歴史について解説する。	

成果

- 新潟県の歴史に関する特定のテーマを設定し、最新の研究成果をふまえた歴史講座とすることで、古文書解読を目的としなくても参加できる講座となった。

課題

- 特記事項なし

問合せ先

新潟県立文書館 TEL：025-284-6011

県立文書館 歴史講座

弥彦山から見下ろす世界
現在とは異なる その中世史に迫る

越後川中島ものがたり — 弥彦山の山頂から —

講師 田中 聡 氏
(長岡工業高等専門学校准教授)

弥彦山の山頂から見下ろす越後平野は、県を代表する景観の一つです。しかし、時計の針を戻すとそこには今と違う風景が広がっていました。水量豊かな幾筋もの河川には船が行き交い、点在する潟湖周辺にはそれに寄り添って生きる人々の暮らしがありました。川と川に挟まれた地域は「川中島」と呼ばれ越後の中世文書にも登場します。今回の講座では、この「川中島」をキーワードに弥彦山に登ったつもりで、眼下に広がる越後川中島周辺の歴史を学びます。

期日 平成26年7月12日(土)

時間 13:30~15:00 (受付開始 13:00~)

会場 新潟県立文書館ホール

入場無料

定員 180名

<事前申込・先着順>

申込み方法は、裏面をご覧ください。



いきいき県民カレッジ登録講座

新潟県立文書館主催

幕末、そのとき新潟湊は？

錦絵

「新潟湊之真景」 と新潟開港

講師 菅瀬 亮司 氏
(新潟県立文書館文書調査員)

受講料 無料

定員 180 名

※定員に達した場合は締め切らせていただきます。

幕末期における外国船の来港と新潟奉行の対応、幕府と諸外国とのやりとりなど慌ただしい状況の中、開港場とされた新潟湊。

安政6年に井上文昌が描いた錦絵「新潟湊之真景」を題材として、新潟湊や新潟町の様子を分析し、幕府領となった天保期から明治元年の新潟開港に至る過程及び時代背景や特徴を探っていきます。

期日

平成26年12月13日(土)

時間

13:30~15:00 (受付開始は13:00~)

会場

新潟県立文書館ホール



いきいき県民カレッジ登録講座

申込み方法は裏面をご覧ください。

事業名

〔 文書館特別企画展記念講演会 〕

目的

文書館特別企画展に連動するテーマを設定した歴史講座的な内容とし、より多くの県民に新潟県の歴史に興味・関心を持ってもらえる講座を提供する。

実施主体

新潟県立文書館

参加対象

一般県民

参加者数

105名

回数

1回

日数

1日

時間

1時間30分

場所

新潟県立文書館

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
1	10/25 1:30～15:00	文書館特別企画展記念講演会 「越後平野の開発の歴史 —そして、自然環境の保全・再生へ—」	講師：新潟市潟環境研 究所 所長 大熊孝
	内容・方法	河川や潟湖が広がる強湿地帯から穀倉地帯への変貌の歴史、地理、技術、環境などを多面的に振り返りながら、越後平野の現在と未来への展望について解説した。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	内容・方法		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	内容・方法		

成果

- ・ 特別企画展「所蔵資料にみる越後平野の履歴書」に連動する企画として実施したことで、参加者が展示内容をより深く理解できる講座となった。

課題

- ・ 特記事項なし

問合せ先

新潟県立文書館 TEL：025-284-6011

越後平野の開発の歴史

— そして、自然環境の保全・再生へ —

入場無料

講師 大熊 孝 氏

新潟市潟環境研究所・所長
新潟大学名誉教授
NPO 法人新潟水辺の会・代表

日本有数の穀倉地帯である越後平野。豊かな実りを提供する今日の景観は、先人の労苦の積み重ねにより築られました。河川や潟湖が広がる強湿地帯から穀倉地帯への変貌を歴史、地理、技術、環境など多面的に振り返るとともに、越後平野の現在と未来への展望を探ります。

平成26年10月25日(土)

13時30分~15時00分 《受付13時00分~》

会場：新潟県立文書館ホール

定員180名

☞事前の申込が必要です。



☞お問い合わせと申し込みは、電話、ファックス、Eメールで
新潟県立文書館（新潟市中央区女池南3-1-2）まで。

特別企画展のご案内

所蔵資料にみる越後平野の履歴書

会場：文書館閲覧室

期日：10月21日(火)~11月3日(月)

※10月27日(月)は休館

時間：9時30分~17時00分

※11月3日のみ15時00分まで

記念講演会と併せてご覧ください。

事業名

〔 美術鑑賞講座 〕

目的

県民に美術の学習機会を提供する場として、展覧会や作品に関連した講座を開催する。

実施主体

新潟県立近代美術館

参加対象

一般

参加者数

120名（12月まで）

回数

7回

日数

7日

時間

各回約90分

場所

新潟県立近代美術館 講堂

内容

回	期日・時間	テーマ・内容	講師等
1	5月10日(土) 14:00～15:30	「宮芳平の生涯と作品」 洋画家・宮芳平展の生涯と作品を概観する。	新潟県立近代美術館 専門学芸員 松矢 国憲
2	8月2日(土) 14:00～15:30	「金堂壁画と日本近代美術」 近代の画家や美術史家にとって、法隆寺金堂壁画はどのような存在だったのだろうか。模写事業に参加した画家たちや岡倉天心、和辻哲郎らを例に考察する。	新潟県立近代美術館 主任学芸員 長嶋 圭哉
3	8月9日(土) 14:00～15:30	「カラーの風景—リアリズムと神話のあいだ」 夢見るような風景や神話画を描いて人気を博したカラー。自然を愛し人を愛したフランスの国民的画家の生涯と画業をたどる。	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 平石 昌子
4	9月20日(土) 14:00～15:30	「肖像と向き合う」 人の人格や記憶をとどめるものとして作られてきた肖像。顔をテーマにしたコレクション展「FACE」の展示作品に依りながら、肖像に込められた思いや意味を探る。	新潟県立近代美術館 美術学芸員 伊澤 朋美
5	10月4日(土) 14:00～15:30	「現代美術と映画」 1970年代以降の現代美術の流れを、その当時の社会情勢、特にアメリカ映画との関連づけながら紹介する。	新潟県立近代美術館 学芸課長 藤田 裕彦
6	10月25日(土) 14:00～15:30	「ニイガタ絵本作家列伝」 明治時代から現代までの新潟県出身、在住の絵本作家6名を紹介する。	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下 東子
7	2月28日(土) 14:00～15:30	「コレクションと展覧会」 展覧会との関わりを視点に、この11年間に収集された作品を振り返りながら収集と展示という美術館の主要な活動を紹介する。	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 澤田 佳三

成果

- ・ 展覧会にあわせたテーマを設定し、展覧会をより深く鑑賞できるようにした。また、当館所蔵品への関心を高める講座をも開設できた。

課題

- ・ 広報等の工夫により、参加者をより増やす。

問合せ先

新潟県立近代美術館 学芸課（担当：佐藤 久美子） 電話：0258-28-4111

事業名	〔 美術講演会 〕		
目的	展覧会の趣旨、作品への理解を深める。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	一般	参加者数	345名
回数	2回	日数	2日
		時間	各回60分
場所	新潟県立近代美術館 講堂		

内 容

回	期日・時間	テーマ等	講師
1	7月5日(土) 13:00~14:00	企画展「法隆寺 祈りとかたち」関連事業 演題「和の社会と日本文化」 ・法隆寺が太子建立寺院から太子信仰寺院へと 移り変わっていく歴史を、聖徳太子の偉業とあ わせて分かりやすく紹介。	法隆寺管長 大野 玄妙 氏
2	7月26日(土) 13:00~14:00	企画展「法隆寺 祈りとかたち」関連事業 演題「法隆寺の美術と聖徳太子」 ・法隆寺が所蔵する仏像や天蓋などの歴史的背 景や、百済等諸外国からの影響を分かりやすく 紹介。	新潟県立近代美術館名誉館長 東京藝術大学名誉教授 本展監修者 水野 敬三郎 氏

成 果	・ 両講演会とも満席（補助椅子使用）となり、県民の関心の高さが伺えた。知名度の高い一流の研究者を講師として迎えることにより、展覧会を様々な側面から紹介することができた。
課 題	・ 人材のネットワークづくり、情報収集、講師招聘のための予算確保を継続する。

問合せ先 新潟県立近代美術館 学芸課（担当：佐藤 久美子） 電話：0258-28-4111

事業名	〔 ワークショップ 〕		
目的	展覧会や当館施設・作品と関連付けた活動により、体験を通して美術を楽しむ場とする。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	一般および小学生	参加者数	113名（12月まで）
回数	9回	日数	9日
場所	新潟県立近代美術館 講座室、企画展示室、コレクション展示室ほか		

回	期日・時間	テーマ・内容	講師
1	5月24日(土) 10:00～12:00	「デジカメ・スマホでプロの技を！」 (友の会との共催事業) 写真の基本を学び、デジカメやスマートフォンを使って風景を撮影する。	写真家 中條 均紀 氏
2	5月25日(日) 10:00～12:00	「宮芳平の描き方にせまる」 「宮芳平展」の作品をもとに、アクリル絵の具を重ねて描くことにチャレンジする。	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 佐藤 久美子
3	6月22日(日) 14:00～15:00	「はっけん！びじゅつかんツアー」 美術館の中や外には驚きや発見がいっぱい。美術館を巡る楽しいツアーを行う。	新潟県立近代美術館 美術学芸員 伊澤 朋美
4	8月19日(火) 13:00～17:00	「夏休み子どもアート リアルへのチャレンジ ①水滴を描く ②植物を描く」 絵画制作や指導を専門とする教員を講師に招き、リアリズムを追求した作品を観たり、本物そっくりに描いたりする楽しさを味わう。	新潟県立柏崎特別支援学校 教諭 麻績 勝広 氏 長岡市立中之島中学校 教諭 恩田 康一 氏
5	8月23日(土) 14:00～16:00	「伝統色ってなに？～和のいろを学ぼう！～」 (友の会との共催事業) カラーコンサルタントを講師に招き、コレクション作品に親しみながら、日本古来の美しい伝統色を学ぶ。	カラーコンサルタント 宮崎 朋子 氏 鑑賞担当 県立近代美術館 学芸課長代理 佐藤 久美子
6	10月26日(日) 14:00～16:00	「くっつけて つくろう！」 緩衝材をくっつけながら、オブジェをつくる。	新潟県立近代美術館 副参事 青木 善治
7 8 9	1月24日(土) 1月31日(土) 2月21日(土) 14:00～14:40	「『こどものせかい』ギャラリートーク」 ナビゲータと来館者とが話し合いながら、見つけたり、考えたりして作品を観る。	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 佐藤 久美子 副参事 青木 善治

成果	・ 作品や施設について理解を深めるとともに、体験を通して美術を楽しむ場とできた。友の会との共催ワークショップも好評で、定員を上回る申込みを得ている。
課題	・ 友の会員が案内する「はっけん！びじゅつかんツアー」を、来年度実施予定である。

問合せ先 新潟県立近代美術館 学芸課 (担当：佐藤 久美子) 電話：0258-28-4111

小学校5・6年生の皆様へ★美術を楽しむ企画のご案内★

主催/新潟県立近代美術館
共催/中越美術教育研究会

夏休み 子どもアート 「リアル」へのチャレンジ

プロの技に学びながら、「リアル」な表現の楽しさを味わおう！

《※コレクション展「リアリズムの東と西」関連企画》

魅力いっぱいの企画です

- ★ 絵画の名品をじっくり見ることができる！
- ★ プロに学びながら絵を描くことができる！
- ★ 描いた作品は美術館に飾ることができる！

と き 8/19(火) 13:00～17:00 (12:55 講座室集合)

と ころ 新潟県立近代美術館 (長岡市千秋3丁目278-14)

内 容 次の二つのコースから、好きな方を選んで参加ください。

コース1 「^{すいてき}水滴を描く」 講師 県立柏崎特別支援学校 麻績勝広氏

コース2 「^{しょくぶつ}植物を描く」 講師 長岡市立中之島中学校 恩田康一氏

- ・美術専門の先生から教わることができます。
- ・参加は 無料です。
- ・参加できるのは、県内の小学校5・6年生です。
- ・先着30名(各コース15名)。定員になるまで受け付けます。
- ・持ち物 ありません。
- ・動きやすく、絵の具がついても大丈夫な服装で参加ください。

☆☆夏休み子どもアート「作品展」☆☆☆☆☆☆☆☆

8/21(木)～8/30(土) 9:00～17:00 ※8/25(月)休館

新潟県立近代美術館内に参加者全員の作品を展示します。

作品は 8/31(日)～9/5(金)にお返しいたします。

※電話でお申し込みください。詳細についてお知らせします。

新潟県立近代美術館 TEL 0258-28-4112

〒940-2083 新潟県長岡市千秋3丁目278-14

担当 学芸課 佐藤久美子・青木善治

事業名	〔 出前講座 〕		
目的	当館学芸員等を講師として派遣し、美術館や作品にかかわる理解を深める。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	地域団体・機関・学校	参加者数	772名（12月まで）
回数	15回	日数	15日
場所	地域団体・機関・学校・保育園		
時間	各回45～90分		

内 容

回	期日	対象	テーマ	講師：新潟県立近代美術館 所属
1	5月28日(水)	長岡市立上組小学校6年	「学芸員てどんなお仕事でしょう」	学芸課長代理 宮下 東子
2	6月 5日(木)	新潟デザイン専門学校/モンセラート美術大学	「日本画の基礎知識」	学芸課長代理 宮下 東子
3	6月27日(金)	見附市立見附中学校2年	法隆寺展出前講座「仏像見てミテ！」上級コース	美術学芸員 伊澤 朋美
4	7月 2日(水)	長岡市立刈谷田中学校2年		学芸課長代理 宮下 東子
5	7月 9日(金)	長岡市立上川西小学校4年	「法隆寺 祈りとかたち 展覧会の見所」	主任学芸員 長嶋 圭哉
6	7月23日(水)	出雲崎町教育委員会中央公民館 出雲崎総合大学第5回		学芸課長代理 宮下 東子
7	9月16日(火)	長岡市立関原小学校4年	「黒井健さんの絵本・イラストレーション」	学芸課長代理 宮下 東子
9	11月20日(木)	見附市立本所保育園	幼児向け出前講座「たのしいかたちをならべてみよう」	学芸課長代理 宮下 東子
10	11月27日(木)	見附市立桜保育園		学芸課長代理 平石 昌子
11	12月 9日(火)	見附市立わかば保育園		副参事 青木 善治
12	12月10日(水)	見附市立見附保育園		学芸課長代理 宮下 東子
13	12月11日(木)	見附市立名木野保育園		学芸課長代理 佐藤久美子 美術学芸員 伊澤 朋美
14	12月17日(水)	長岡市立川口中学校3年	「デザインって何？」	学芸課長 藤田 裕彦
15	12月18日(木)	南魚沼市立五十沢中学校3年		

成 果	<ul style="list-style-type: none"> 開催する展覧会にあわせてプログラムを作り学校に提案することにより、出前講座が広報的な役割も果たし、展覧会や鑑賞方法への理解の深まりにつながった。また、幼児向け出前講座を見附市立保育園に対して実施し、その親にまで美術館情報が伝わり、美術館活動の視野を広げる機会となった。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 学校・保育園対象の講座の場合、先生との協働等を構築する必要がある。また、一般向けの講座に関して、広く周知を図ることも重要である。

問合せ先 新潟県立近代美術館 学芸課（担当：佐藤 久美子） 電話：0258-28-4111

事業名 [ギャラリートーク]

目的 展示室で作品を鑑賞しながら、作品や作家について理解を深めていただく。_____

実施主体 _____新潟県立万代島美術館

参加対象 _____一般県民（展覧会鑑賞者） **参加者数** _____のべ161名

回数 _____3回 **日数** _____各回1日 **時間** _____各回1時間程度

場所 _____新潟県立万代島美術館 展示室内

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月17日（土） 14:00～	「国立国際美術館のコレクションについて」	国立国際美術館 副館長 島敦彦氏
	内容・方法	企画展「国立国際美術館コレクション 美術の冒険」に関連した講座。国立国際美術館副館長の島敦彦氏を講師に迎え、展示室で実際の作品を鑑賞しながら、作品制作の背景やコレクションの成り立ちなどについてお話いただいた。参加者数：25名	
2	9月13日（土） 11:00～／14:00～	「伊藤若冲と京の美術展 ギャラリートーク」	細見美術館 館長 細見良行氏
	内容・方法	企画展「伊藤若冲と京の美術 細見コレクションの精華」関連。細見美術館館長の細見良行氏を講師に迎え、展示室内で細見家3代にわたるコレクションの成り立ちや、出品作品についてお話いただいた。参加者数：午前70名／午後66名	
3	期日・時間	テーマ	講師等
	内容・方法		

成果 ・外部講師を招き、実際の作品を前にお話いただくことにより、作品や作家、コレクションの性格などについて理解を深めていただくことができた。

課題 ・展示室内での開催であり、静かに鑑賞したい来館者への配慮が必要となる。

問合せ先 新潟県立万代島美術館 業務課 今井 TEL 025-290-6655

国立国際美術館コレクション

美術の冒険

セザンヌ,ピカソから草間彌生,奈良美智まで

自由に、常識という盾は必要か。

ADVENTURE IN ART

Masterpieces of the National Museum of Art, Osaka

美術館とは何でしょうか？ 我々の生活において、美術はどんな役割を果たしているのでしょうか？ 我々が美術に期待しているものは何でしょうか？

ここにはさまざまな答えがあると思いますが、ひとつの答えとして、美術の文化は、日本の世界から我々を突き離し、

かつて異なっていた我々の、思いもつかなかったような世界へと我々を突き送るところにあるのではないのでしょうか？

アーティストは、世間の常識をひたひたと飛び越え、常識は越えつけないようなものを創り付け、

そして自分だけの世界よりももっと広い世界があることを、観る者に気づかせてくれます。これがまさに芸術の力であり、面白さです。

優れたアーティストは、新しい領域を飛び越え、異文化と異文化をつなぐ、そして融合します。

「芸術」として高く評価されているものと我々の日常の大衆文化の源をも作り出します。

内閣と外閣、政府と野党、東洋と西洋、日本と世界。これらの二つを隔てている壁を取り払い、我々をその壁で分けたわけではありません。

我々が日常生活の中でガンジラマになっている常識の壁を断ち切り、そして自由な世界へと導くのが、我々の任務なのです。

このたびは、大館の国立国際美術館のコレクションの中から、こうした芸術の力を感ぜさせる作品を選び取り、

展覧では初めて大々的に公開します。このたびの展覧会が、あなたと我々の新たな出会いの場となり、

その結果あなたと我々の心と眼がより豊かになる、そんな機会となることを祈っています。また、一緒に美術館の運営の原に協力をお願いします。

2014年5月17日[土]→6月22日[日]

開館時間 / 午前10時～午後4時(観覧券販売は午後3時30分まで) 休館日 / 5月29日(月)、6月2日(月)、6月19日(月)

観覧料 / 観覧券：一般600円(800円)、大学・高校生300円(400円)、中学生・600円(一般のみ)

※中学生以下は無料です。※()は有料20名様以上の団体料金です。※観覧券手続・観覧手続をお済ませの方は無料です。受付で手帳をご提示下さい。

販売店舗 / 新潟県新潟市、県庁本館、RKKY01、万代シティ・ビルボードプレイス、シネ・ウィンド、イサン美術館、

アミュージメント信濃と県内プレイガイド、新潟県立万代島美術館・万代島美術館・新潟市美術館ミュージアムショップ、セブンイレブン、ローソン、

ファミリーマート、サークルKサンクス、県内のセーブオンで4月30日から5月10日まで販売

主催 / 新潟県立万代島美術館、国立国際美術館

協賛 / 新潟市、新潟市観光委員会、新潟日報社、新潟県観光協会、新潟県新聞協会、毎日新聞新潟支局、新潟県新聞協会、新潟県新聞協会、

日本放送協会 NHK新潟放送局、BSN新潟放送局、NBS TBSテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NPO999信濃センター、エフエムラジオ新潟、

FM PORT 72.0、FM KENTU、ラジオシティ・エフエム新潟、エフエム山形山形放送局、エフエム山形、新潟放送エフエム放送株式会社

新潟県立万代島美術館 / 〒950-0076 新潟県中津区万代島5-1 電話 / 〒950-0076 (ホテル石川新聞社と同じビルです)

TEL 025-290-8665 FAX 025-245-7077 URL <http://bami.pref.niigata.lg.jp/>

新潟県立万代島美術館
The Niigata Bandaijima Art Museum

伊藤若冲と 京みやこの美術

細見コレクションの精華

じゃくちゆう



Ito Jakuchu and the Fine Arts of Kyoto —Masterpieces of the Hosomi Collection—

2014年 9月13日(土) → 11月3日(月・祝)
新潟県立万代島美術館

開館時間 | 午前10時～午後6時(観覧券の販売は閉館30分前まで)
休館日 | 10月6日(月) ※一部展示替えを行います。(前期:9/13～10/5 後期:10/7～11/3)
観覧料 | 当日券 一般 1,300(1,100)円・大学・高校生 1,100(900)円
前売券 一般のみ 1,100円

※中学生以下は無料です。 ※()内は有料20名様以上の団体料金です。
※障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料です。受付で手帳をご提示ください。

主催 | 新潟県立万代島美術館、新潟日報社、NST、伊藤若冲と京の美術展実行委員会、細見美術館
後援 | 新潟市、新潟市教育委員会、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0
FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ばかぼかラジオ
エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

前売券販売所 | 県内プレイガイドのほかインフォメーションセンター「えん」(新潟日報メディアシップ1階)
NIC新潟日報販売店、セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート
サークルK・サンクス【各社共通商品番号:0237642】、セーフオン
万代島美術館・近代美術館ミュージアムショップなどで
6月20日(金)～9月12日(金)まで販売

お問い合わせ | 新潟県立万代島美術館 〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1朱鷺メッセ内
万代島ビル5F(ホテル日航新潟と同じビルです)
TEL 025-290-6655 FAX 025-249-7577 URL <http://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

上部右より 伊藤若冲「糸血群虫図」江戸中期(部分)・神坂雪佳「四季草花図」大正後期(部分)・伊藤若冲「付犬に慕図」江戸中期(部分)
「伊年」印「四季草花櫻桃図屏風」江戸前期(部分)・「伊年」印「四季草花図屏風」江戸前期(部分) ※片夏すづり展
伊藤若冲「若中草虫図」江戸中期(部分) ※すべて京都 細見美術館所蔵



新潟県立万代島美術館
The Niigata Bandaijima Art Museum

事業名

新潟県立歴史博物館 「出前講座」

目的

当館研究員の「調査・研究」活動の成果を広く県民に普及する場として、また、県民の多様なニーズに即した生涯学習の場として、県内各地で講座を開設する。

実施主体

新潟県立歴史博物館

参加対象

一般・親子

参加者数

531名

回数

13

日数

13

時間

延べ19時間

場所

県内13会場（下記）

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月15日（木） 10：00～11：30	「井上円了の妖怪学」 会場：新発田市七葉コミュニティーセンター	新潟県立歴史博物館 主任研究員 田邊 幹
	内容・方法	長岡市（旧越路町）出身で、東洋大学を設立した井上円了は、「妖怪博士」としても知られています。井上円了の「妖怪学」について紹介します。	
2	5月30日（金） 10:00～11:30	「家の神さま仏さま」 会場：小千谷市岩沢住民センター	新潟県立歴史博物館 主任研究員 大楽 和正
	内容・方法	家のなかには、神棚・仏壇・台所・便所など、さまざまな場所に神仏がまつられています。また、屋外に屋敷神をまつる家もあります。家の年中行事や儀礼を通じて、家でまつる神仏について考えます。	
3	7月16日（水） 16:15～17:15	「江戸時代の旅と越後の観光名所」 会場：新潟会館	新潟県立歴史博物館 主任研究員 渡部 浩二
	内容・方法	江戸時代は庶民の間にも旅が盛んとなり、越後にも多くの人びとが訪れました。当時の旅行案内書や道中記などから、そのような旅の実態と越後の観光名所について探ります。	
4	7月22日（火） 13:30～15:00	「縄文時代の食事」 会場：田上町公民館	新潟県立歴史博物館 専門研究員 西田 泰民
	内容・方法	現在、縄文土器に残された食べ物の痕跡の研究が国際的規模で進められています。一万年前に土器で料理されたものはどんな食べ物だったのか、分析結果から考えます。	

	期日・時間	テーマ	講師等
5	8月8日（金） 13:30～15:00	「家の神さま仏さま」 会場：小国コミュニティーセンター	新潟県立歴史博物館 主任研究員 大良 和正
	内容・方法	家のなかには、神棚・仏壇・台所・便所など、さまざまな場所に神仏がまつられています。また、屋外に屋敷神をまつる家もあります。家の年中行事や儀礼を通じて、家でまつる神仏について考えます。	
6	8月21日（木） 13:30～15:00	「直江兼統とその時代」 会場：三条市嵐南公民館	新潟県立歴史博物館 主任研究員 前嶋 俊
	内容・方法	戦乱の世を生き抜いた中越、上越地方ゆかりの直江兼統の志や生き方の理解を通して、「天地人」の舞台となった時代背景や状況について解説します。	
7	9月4日（木） 10:00～11:30	「家の神さま仏さま」 会場：小千谷市東山住民センター	新潟県立歴史博物館 主任研究員 大楽 和正
	内容・方法	家のなかには、神棚・仏壇・台所・便所など、さまざまな場所に神仏がまつられています。また、屋外に屋敷神をまつる家もあります。家の年中行事や儀礼を通じて、家でまつる神仏について考えます。	
8	9月18日（木） 13:30～15:00	「山とのつきあいかたを考える」 会場：入広瀬生活改善センター	新潟県立歴史博物館 主任研究員 大楽 和正
	内容・方法	新潟県魚沼地方を中心に、山の利用に関するルールやしくみを紹介し、人びとが培ってきた知恵の中から、これからの自然保護や環境保全について考えます。	
9	9月21日（日） 13:30～15:00	「自分の指のレプリカを作ってみよう」 会場：弥彦村文化センター	新潟県立歴史博物館 専門研究員 山本 哲也
	内容・方法	レプリカって何？なぜ博物館にはレプリカが飾ってあるの？…そんな質問がよく聞かれます。実際に自分の指のレプリカを作る作業をとおして、レプリカというものを考えてみましょう。	
10	10月7日（火） 9:30～11:00	「江戸時代の旅と越後の観光名所」 会場：刈羽村生涯学習センター	新潟県立歴史博物館 主任研究員 渡部 浩二

	内容・方法	江戸時代は庶民の間にも旅が盛んとなり、越後にも多くの人びとが訪れました。当時の旅行案内書や道中記などから、そのような旅の実態と越後の観光名所について探ります。	
11	期日・時間	テーマ	講師等
	10月8日(水) 13:30~15:00	「井上円了の妖怪学」 会場：豊浦地区公民館	新潟県立歴史博物館 主任研究員 田邊 幹
	内容・方法	長岡市(旧越路町)出身で、東洋大学を設立した井上円了は、「妖怪博士」としても知られています。井上円了の「妖怪学」について紹介します。	
12	期日・時間	テーマ	講師等
	10月14日(火) 10:00~11:30	「近現代の災—信濃川の洪水—」 会場：燕市中央公民館	新潟県立歴史博物館 主任研究員 田邊 幹
	内容・方法	近代の新潟県の大きな課題であった洪水が、どのように克服されたのか探ります。	
13	期日・時間	テーマ	講師等
	10月17日(金) 19:00~21:00	「作ってみよう 本格まが玉づくり」 会場：柏崎市民プラザ	新潟県立歴史博物館 専門研究員 山本 哲也
	内容・方法	滑石(かっせき)より硬くこわれにくい石材を使って、まが玉作りをします。	
14	期日・時間	テーマ	講師等
	11月7日(金) 13:30~15:00	「古代の史料を読む」 会場：能生生涯学習センター	新潟県立歴史博物館 専門研究員 浅井 勝利
	内容・方法	奈良平安時代の古文書や文献の読み解き方を学ぶ講座です。	
15	期日・時間	テーマ	講師等
	1月17日(土) 13:30~15:00	「芸能とかぶりもの」 会場：金井コミュニティーセンター	新潟県立歴史博物館 主任研究員 大楽 和正
	内容・方法	獅子舞の獅子頭をはじめとして、仮面や花笠など、芸能には必ずといってよいほどかぶりものが登場します。芸能において「かぶる」とは、演者の人間性を覆い隠し、神々との交渉のなかで異次元の世界を創り出す行為と考えることもできます。芸能にみられるかぶりものを紹介し、「かぶる」という行為が示す象徴的な意味を考えます。	

成 果

・今年度も広く県内13市町村からご要望いただき、計15回の出前講座実施し、350人を超える方々から参加いただいた。また、当館が設定した内容だけでなく受講者からの要望を取り入れた内容で講座を実施することができた。

課 題

・ご希望が増えるに従って一つの自治体に複数回伺うことが難しくなっていく。市町村ごとの偏りのない、より公平性の高い募集方法を検討する必要がある。また、どの範囲まで講座案内を配布して要望に応じていくか今後検討していく必要がある。

問合せ先

新潟県立歴史博物館 経営企画課
TEL：0258-47-6135

